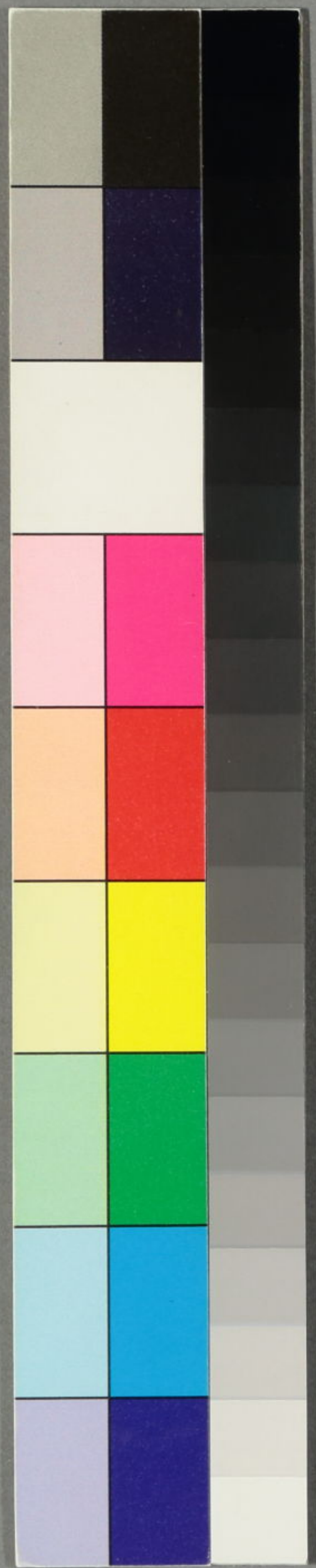




世衣
劍
奇
賞

附錄
唐
畫
類
圖
抄
圖
陸



附錄

稻葉通龍 新右衛門著

己ステ

卒業 ソツゲ

7付7

佩物サゲモノ

カハ

法ヲ

1

あま

コ、ロが、へ

トレゴロ
カウエキ
斗末
交易

キヨウオク

為

マイショウ

辞 コトハ
カサナ

Nov 5

張

力夕

と。ごもよちえととおくどおきりともいふ
 とひちうす。おのがよふき。あふふさふさふ
 おちたきハバ。ちおこなふ。事。さき。く。の
 え。ひ。そ。ハ。ハ。な。き。告。て。誤。り。か。さ。う。誤。り。
 な。び。な。ん。ハ。因。余。が。希。う。て。う。れ。を。い。ふ。火
 成。水。よ。い。け。つ。う。あ。わ。ぬ。十。な。や。り。も
 ぬ。き。と。み。う。う。ぞ。か。く。ハ。梨。サ。ウ。成。つ。い。や。う。
 な。ん。ハ。み。が。顔。厚。一。と。い。う。て。い。う。う。れ。さ。い。
 や。で。も。と。の。え。や。し。け。う。即。商。家。の。き。と。な。う。
 よ。さ。ち。の。あ。う。ん。事。亦。幸。甚。一。の。う。い。や。
 フミ。カス。キコ。ヤガテ。エキ。マ。サイ。ハ。ハ。ナ。タ。

○革品

革ハ皮の製し。う。り。の。う。て。和。よ。ツ。クリ。カ。ハ。と。訓。不。
 周。禮。天。官。掌。皮。掌。秋。斂。皮。冬。斂。革。春。献。
 之。注。有。毛。為。皮。去。毛。為。革。と。い。う。和。語。は。
 カ。ハ。と。い。ハ。甲。の。音。の。轉。ぜ。う。或。説。は。出。せ。り。

亞媽港應帝亞

古渡

インデヤハ國の名うて。南天竺なり。一は印度とも
 書て印度ハ天竺の正名なり。一切經音義は
 え。或書ハ。星。濟。國。の。南。ハ。あ。る。一。の。島。と。い
 う。と。て。革。類。を。産。する。所。の。國。名。と。い。て。稱。さ
 る。の。多。く。蠻。國。の。地。方。名。稱。ハ。も。く。ハ。余。博。聞
 ハ。あ。る。ハ。盡。く。考。へ。る。事。あ。る。と。い。ハ。只。家。業。ハ
 り。わ。た。し。目。巧。の。要。を。う。ま。い。ハ。獅。試。と。

くらふあきばくきを述ぶ。まうくバ余が臆見より
 出ると。肯む人ともあづ。左にうらむと必
 む。実見を経て断る。おなまは疑べ。凡イ
 ンテヤれ事ハ万寶全書より出るとハ参考に
 余が誠と紋をかく。純黒より。紋下むて赤
 ものの上品なり。價貴し。亜媽港と稱するもの
 を最上とす。今皮大と云ふ人より式足餘あり。按
 インデンの屬數品あり。余がくふ所のものを舉
 多うとす。

ルイス 印度亜 インデヤ ルイスノ字未詳

紋 レボ 色煤黒し。そ又全皮大方に尺許
 長臂 印度亜 テナガ インデヤ

紋 レボ こまのくく。グー長くゆるもの。全皮大
 ことよお。○山海經に焦僊國の東に長臂
 國ありと云ふ。いふやうなるや

鼠 印度亜 ミズミ インデヤ

膚色なる。紋細し。大さよ。同
 中渡 印度亜 ナカワリ インデヤ

莫卧爾 モウル 似て。綿毛。印度亜
 ハ裏に紅脈あり。必も裏に。全

皮大と同上凡ハ類の皮ハ大とスルニ寸許
マシ馬の^{カタチ}形乃^{ケモノ}獸なりといフ

古渡野牛^{コワタリヤギウ}印度^{インデヤ}亜

絞^{シボ}あゝく色黒く絞^{シボ}下^{シボ}至る赤くハ革^{カサ}厚く
輕軟^{サカク}野牛ハ別^{ワカ}皮^{カバ}よりやう印度^{インデヤ}亜の
中^{ナル}或^{アル}説^{セツ}は野牛ハ深山よりあるカ^カは^ハ物^{モノ}を
載^{ノセ}る^{ハシ}事^{コト}が^ガと^ト

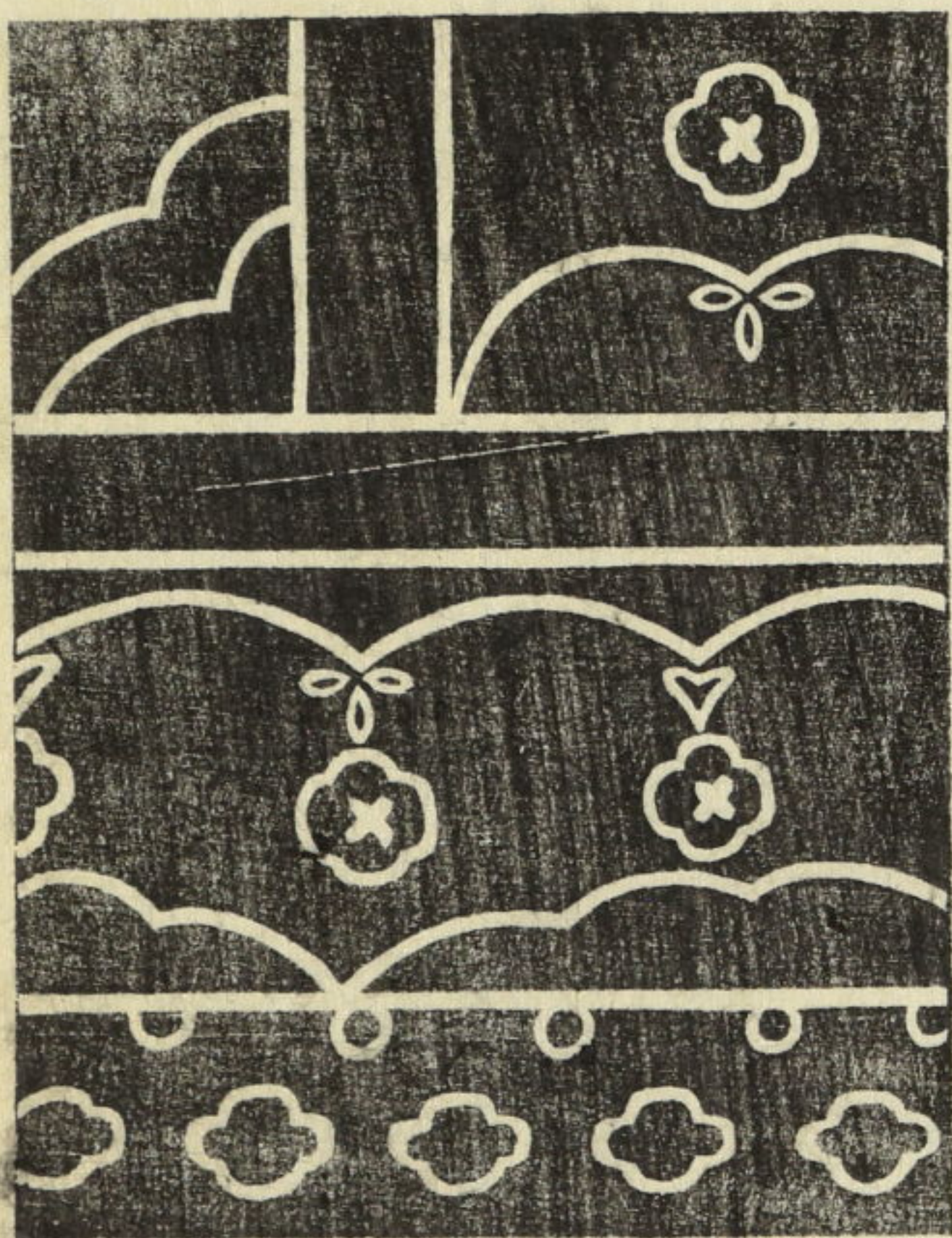
中渡野牛^{ナカワタリヤギウ}印度^{インデヤ}亜

漫^{マン}絞^{シボ}より全體^{ゼンタイ}茶褐^{チヤイロ}色なり性合^{セイガフ}より新渡
野牛^{ヤギウ}と^トも^モあり中渡^{ナカワタリ}よりハト品^{ハトヒン}く野牛^{ヤギウ}ハカアホ

テホウヌイスフランスと^ト國^{クニ}より^{ヨリ}華夷^{クワイ}通^{ツウ}
商考^{シヤウカウ}より^{ヨリ}

紋^{モン}印度^{インデヤ}亜^ヤ紋^{モン}様^ヤニアラズ今其上品ノモノヲ圖ス

左^サニ圖^ズる^ル紋^{モン}様^ヤ鐵印^{カサビシ}より打^{ウチ}出^ダ



地^チ高^{タカ}く偽造^{キサウ}ハ紋^{モン}高^{タカ}
く地^チひく^{ヒク}真物^{シンブツ}ハ
價^タ甚^シだ^ダと^ト

新渡印度亜

中渡の莫卧ル^{ナカワタリ}に似る^{モウル}。金皮^{ゼンヒ}方^{ハウ}に人許^{バカリ}

紋野牛

野牛^{ノウ}印度亜^{インデヤ}の紋^{モン}を打^{ウチ}し、のり^{ノリ}にて和製^{ワセイ}なる。

蠻貢^{マンコウ}ののり^{ノリ}ありす

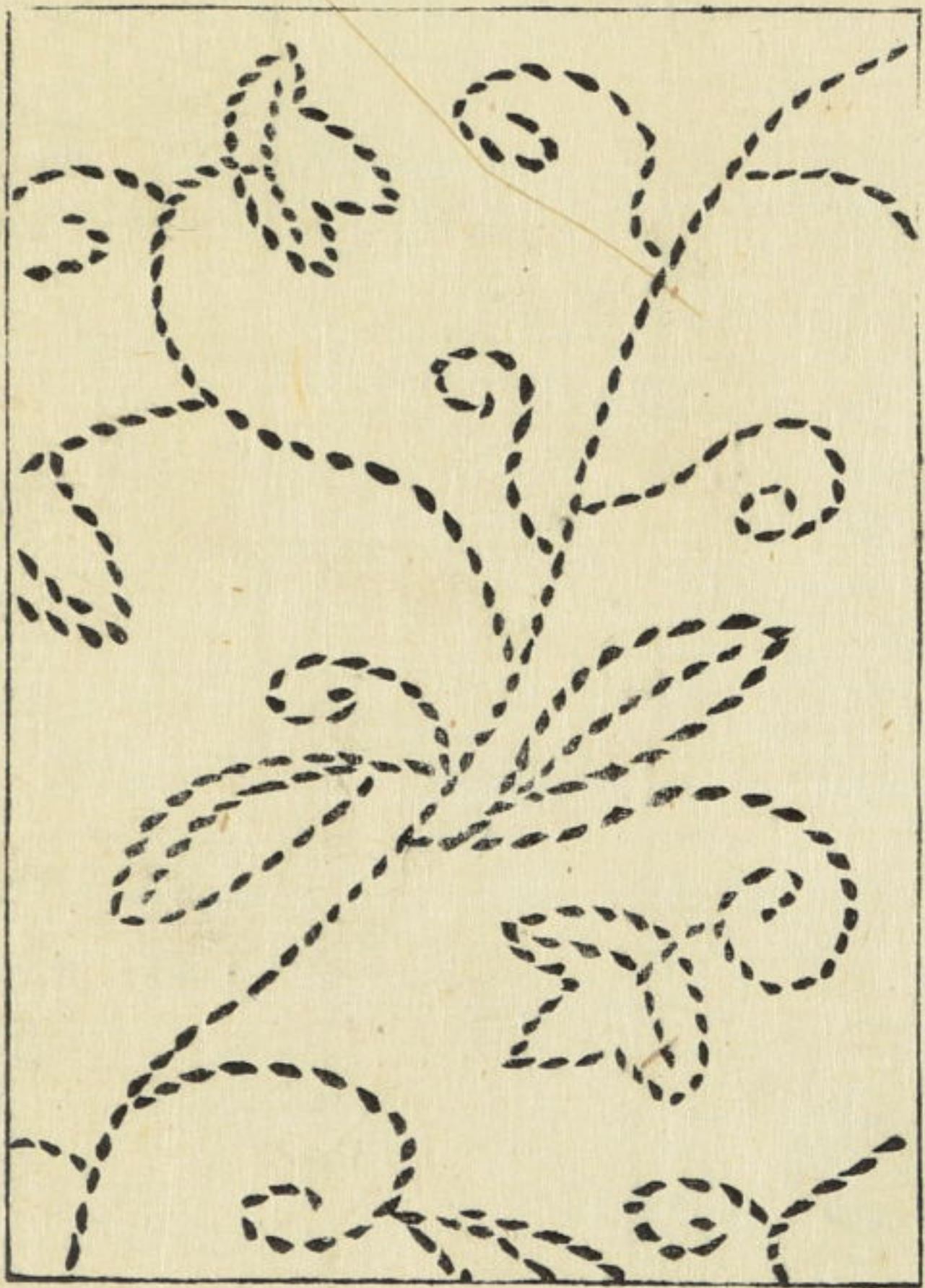
七寶印度亜

紋印度亜^{モンインデヤ}の紋^{モン}は、画具^{エノグ}にて彩色^{サイシキ}し、を^をびく。名^ナに^ニて^テ古渡^{コト}の物^{モノ}にて稀^{シレ}に^ニ價^{アタヒ}も亦^モ貴^キく。新渡^{シント}ののり^{ノリ}なり。一種^{イツシュ}ハル^{ハル}シヤの皮^{カバ}にて製^{セイ}衣^イし、大坂^{オオサカ}伏見^{フシミ}町^{チョウ}筒乱^{トウラン}屋^ヤ四郎^{シロウ}右衛門^{ウヱモン}といふ人^{ヒト}。

擬^ギして作^{サシ}せり。バク紫^{シキ}笛^{フエ}と^{カウ}辨^ハし。狂^{キヤウ}言^{ゴン}城^{シヤウ}づく

名^ナあり。後^{ノチ}傍^{ホウ}に^{セツ}杜^{タウ}堂^{タウ}といふ

刺紋印度亜



小印度亜

獸毛^{クモウ}と絲^{イト}より五^イ色^{シキ}に^ニ深^{フカ}く^ニ染^{シメ}りて蔓^{カラ}草^{クサ}の敷^{シキ}織^{オリ}繡^{スミ}なるものなり。多く^{オホク}海^{ウミ}なるものなり。そ^ソに^ニ便^{ベン}也^ヤ。

女莫卧爾メモウルれ中ナカより品シナより取トリ擇エラふは名ナツく。

革小形カハコテは紋シボも志シほくしとあり

交趾カウチ印度インデ亜ヤ紋シボ鹿カくぐんぐんとて紋シボ下シタ赤アカし性セイハ能ヨれども。

下品ゲヒンのめし但タち所シもても交趾カウチの産サン

りれば名ナのし紋シボ稱ショウとて革カのふの似ニと

れりて肆イナダラまかくハ名ナツけし凡オヨソ交易カウエキ家の言コトハ

は教アキの事キンド多カタし

莫卧爾モウル

古渡コワタ中渡ナカワタ新渡シンワタあり。万寶全書マンホウゼンショよりくわ

是亦レ方ハウ三尺サンサツ許バカリの太フタの皮カなり。莫卧爾モウルハ南天竺ナンテンダク

は属レヨクする第一ダイイチの大國ダイコクなり。通商ツウショウ考コウより

小莫卧爾コモウル

莫卧爾モウル革カれ小形コガタなり。二十張ニジュウシヤウを壹櫃ヒトヒツより

質行ボウカウと。一種シユは女莫卧爾メモウルと稱ショウは是

亦モトモト二十張ニジュウシヤウ壹櫃ヒトヒツなり

呂宋革ルソンカハ

万寶全書マンホウゼンショよりくわ。但タし中紋ナカシボと

はハ非ヒなり。大紋ダイシボより甚シど輾ヤハラカは裏ウラなりけ

るなり。全皮ゼンカ大ダイ三尺サンサツ強ヨクなり。計アヘリ尺五シツゴ寸スン

水牛皮

許やでなり。呂宋ハ南蠻ニ属セリ。一の島くと

大絞オホレボより純黒シツクニ絞下シボレタ至テ赤ベニ。全皮凡壹間ゼンニオヨソ

半ニ横四尺許バカリのもの。水牛一ニ沈牛ヂンギウ又牝牛カウメウ

ともついで。其色青アラく。サイロン國ニ産サン。蠻名バンメウ

カラバウといふ。式書アルレヨニ入る

中渡水牛皮

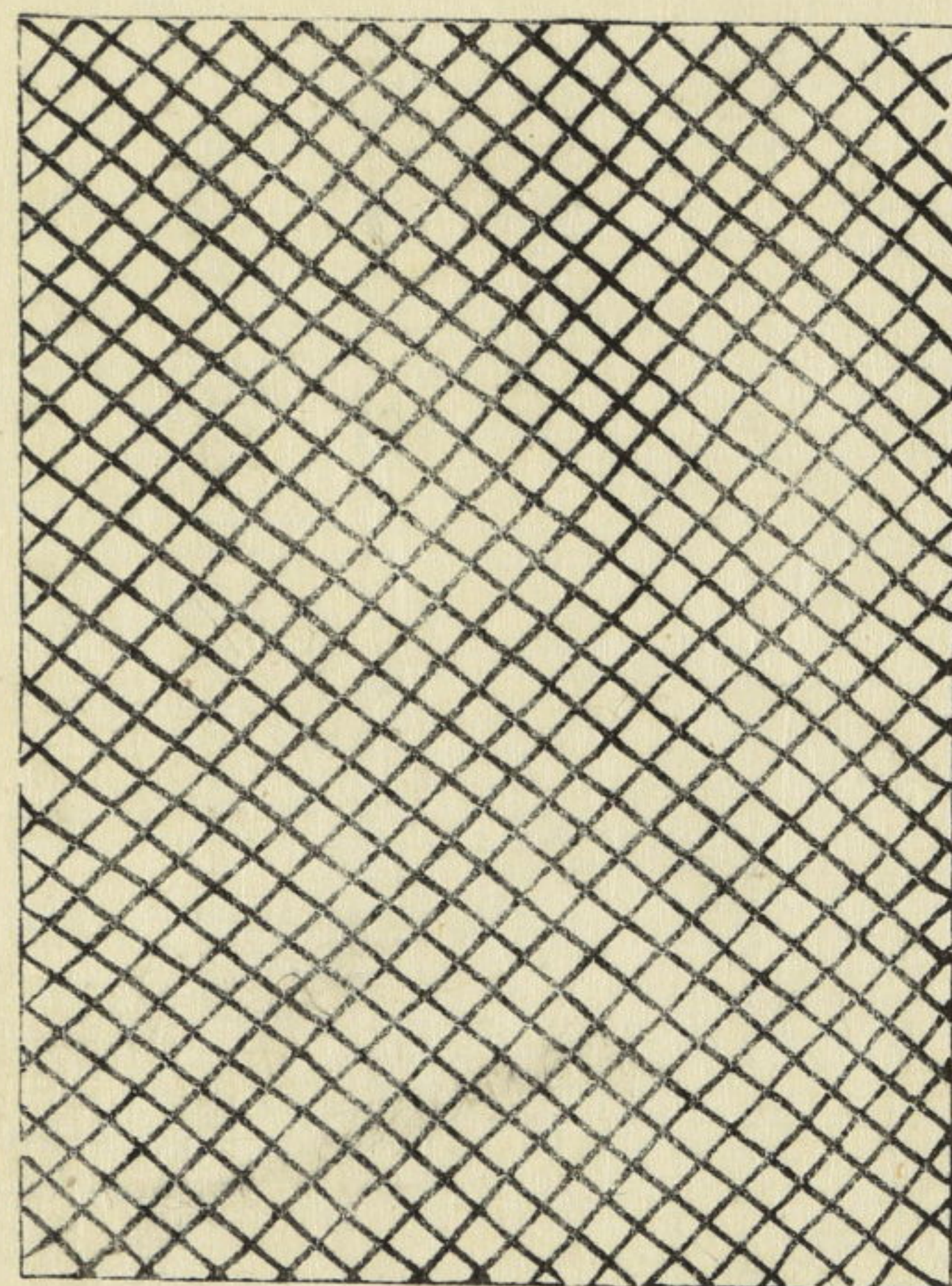
其絞シボあらく。絞の上下ともどろろ茶褐色チャヤなり。

新渡のりありて。其まじりといふも。革

こそさテツキ付ツキなり。紋ベンどろろ。是又

サイロン國の産サンなり

篩斗目水牛皮



図ヅれど。篋ヘラ紋ベンの

て筋スチ付ツキるもの

といふ。ウチミ

苧簾アシハラのやうなり。俗

ニ鹿通アラトホシといふ篩フルの

なり。紋ベンにて。商

家カられを名付。革ヤシカ軟コニ古渡コワタリの物。浅茶褐色ウスチャイロ

なり。大さく尺五寸。幅ハタニ尺五寸許。但黒色クロなり。

黒水牛クロスギウ

のハ和製ワセイにておもひ

絞シボあゝく絞下赤ゼンタイニツクロ。全躰純シロにて。こゝろ皮

なり。表オモテよりこれを折フル。折目フリメよりなる氣味キミなり。の

なり。ちと六又五寸は幅ハタ五寸許バカリ

小革水牛コガハスギウ

その金皮キンより五寸許バカリ。他の水牛皮スイノウより

比ヒそれハ小コなり。残コソリ々々名ナはく革カ々々々。甚下ゲ

品テなり。のこ

銀水牛ギンスギウ

地ウスチ浅茶褐色ヤイロ。銀ギンの針金ハリガネにて。蔓草カラクサ状ズシに

のりて。紅夷フランドー人の製セイなり

ウスコウベヤ

愚案ウソ。ウスコウベヤの古渡コワタれ至て上品ウツと稱

と。そのハ其絞シボ畠ハタ々々。絞下シボシタ甚シぶ赤アカ。但

一萬寶全書マンボウ。ハ皮鑑カンシヤウ賞メキれ事コトは。せは。ニ

一。通考ツウカウと。べ。これ。ハ。ウスニコウルベアニと

い。る。蠻語バンゴなり。ハ。方言ハウゲンとい。つ。ハ。ウスコウベヤと

い。は。な。げ。更サ。は。謬アヤリて。ムスコベヤムスコベヤとい。ふ。今イマ。名

を。あ。ら。う。と。聞キ。を。異コトと。し。て。通稱ツウケウを。記シせ。り

其產地等いさゞ詳ならず。全皮大底三
尺許、又尺彊なり。

中渡ウスコウベヤ

其革れ性、ふくふく。所謂漆氣なるものなり。元
々所乾けり、味なるものなり。

小ウスコウヘヤ

其革小。故に別より名を名く

新ウスコウヘヤ

是ハ黄百爾齊亞れ極品乃所を和して修製し
新ウスコウベヤと名て、其性合ふものなり。今

稀にして得づ。大さよは

小豆革

紅夷人乃貢する。其色の似る。或る

稱する。万寶全書に云く。云々。但

大紋なるものといふ事。云々。小紋

れあり。又革厚し。とある。云々。其

大さ二間。幅一間許れ。云々。全皮ハ大さ

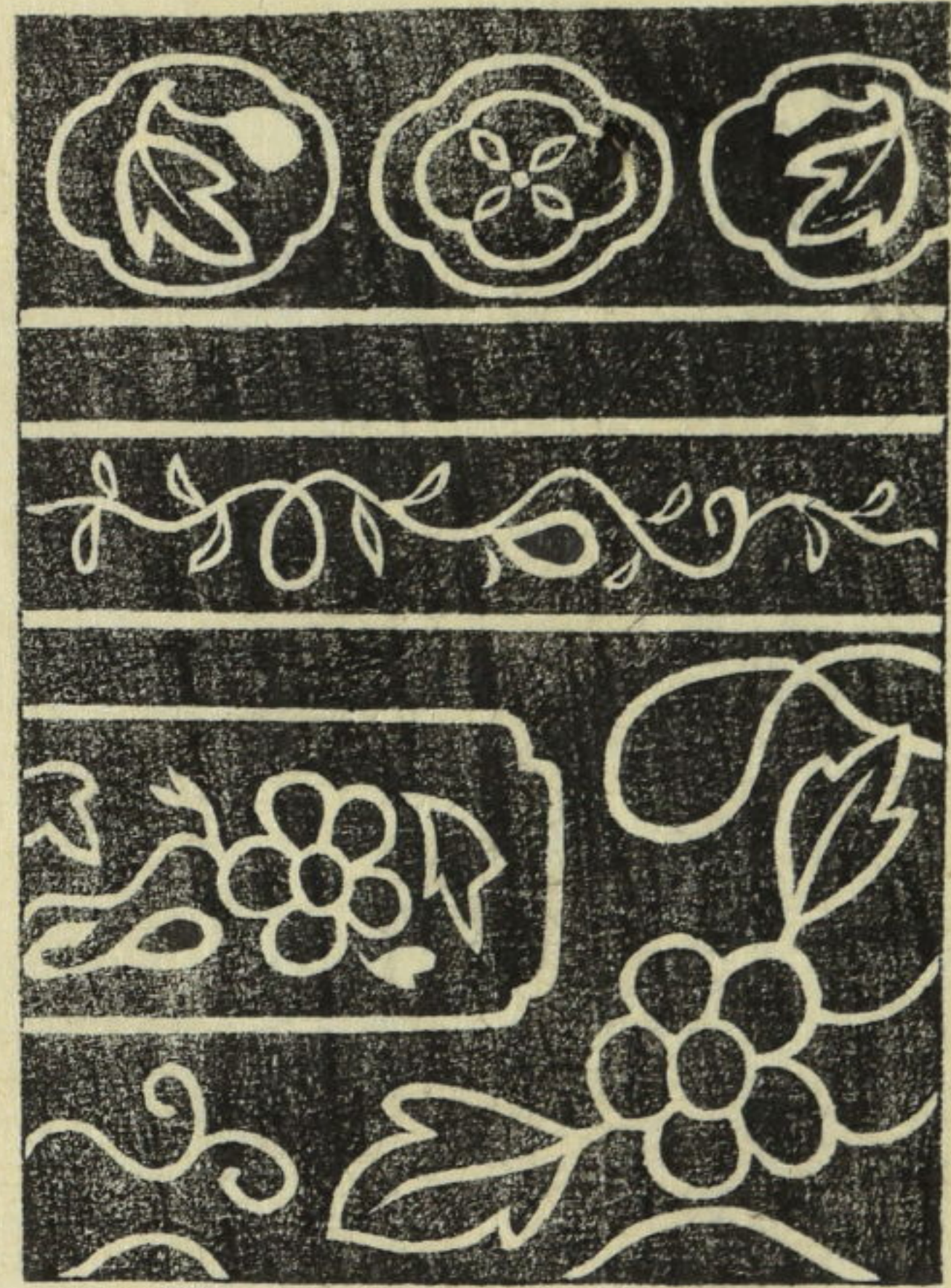
べ。今扱ふ。云々。切らるものなり。云々。バ

む。大さなる。敷の皮ある。云々。蛮人の褥

なり。云々。めと云々。云々。但一種。云々。裁切て。云々。合せり。

紋小豆革

紋ハ 本邦此製と見ゆれども近時の作なり



辨じて目利とす

青皮

傳ふ紋をよきとす。紋様の和と蠻物とを以て起地沈て、そを年々傳ふなり。ハ紋印

臭青皮

くくく萬寶全書より。青皮堅厚可以為鎧と有。圓機活法。犀の條。青皮堅厚。可以為鎧と有。商賈よく蠻産大龜の咽皮と云ひ傳ふ事。尚ハ犀此咽皮。又一役なり。考へ

朝鮮乃大龜の咽皮なり。皮あつく。七子の。のりて。緑の色も。斑なき。バ。緑をなす。紋あり。和りて補つるなり。

古渡聖多默

紋下。赤く。印度亞。疑似乃のわり。堅賞

よくしーかゞれバゐあやまらぐー。サントメハ西天
竺此地名れし。金皮大と云ふすよ八五寸許バカリ
中渡聖多默オホワリサントメ

絞下ねどみ色なる。新渡も同様なり
大絞聖多默オホシホサントメ

も絞乃鹿大なる絞を稱と。性合等異なるを
あつて絞乃様子よりての事と

小絞聖多默コシホサントメ

是又絞なりてれ稱なる事。あゝ同し。但下品
のめりて金皮大と云ふ。八五寸許バカリとて

黄聖多默キサントメ

黄をみろ茶褐色よりて。性合あつとねむり
あつて能く革なり

白聖多默シロサントメ

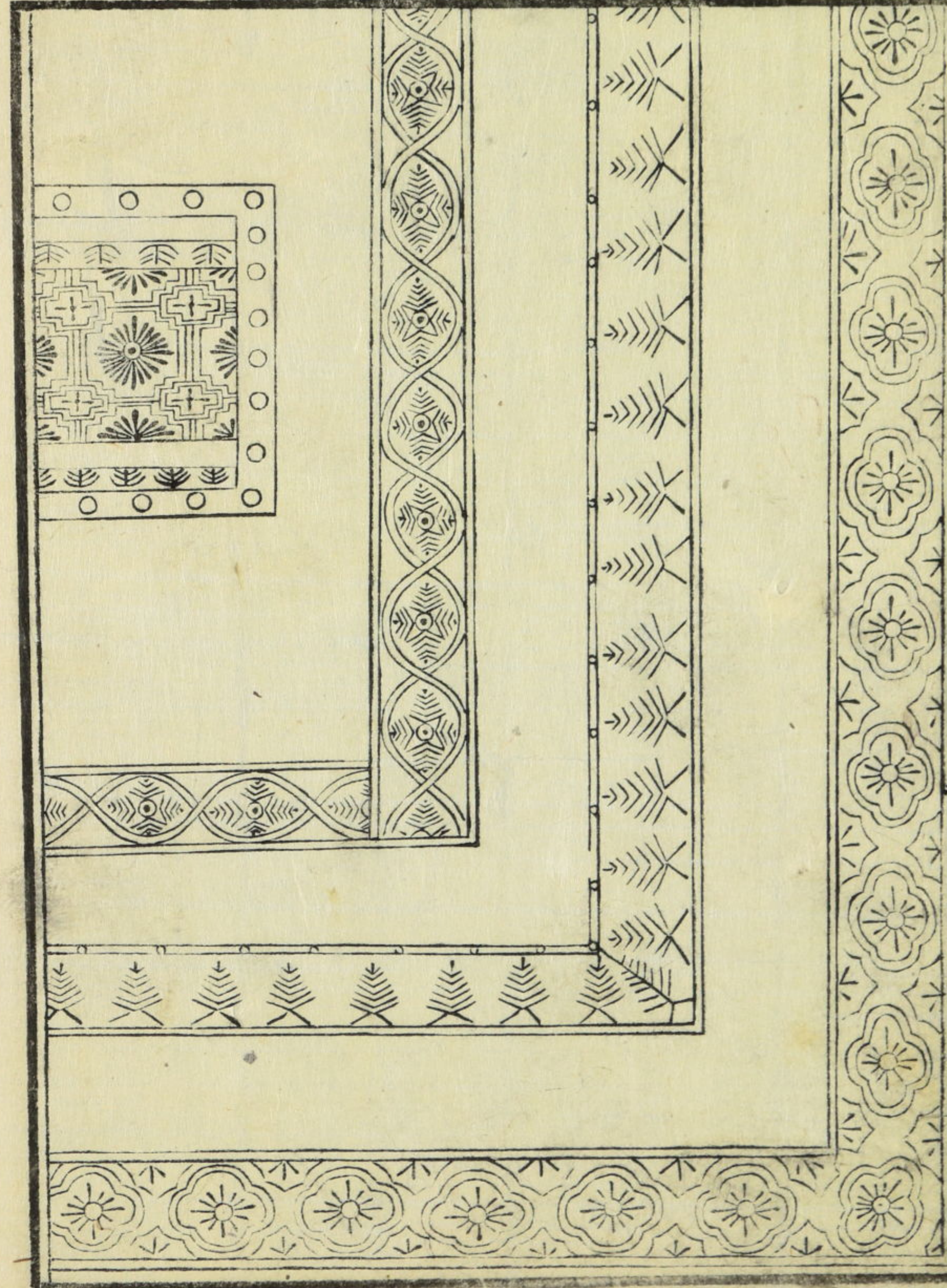
其色純白より。雪よりも勝る。表ハ乾氣有
てねむりより。性合よと革なり

真黒聖多默マダクロサントメ

其色乃純黒より。性合よと稱と。蜜船貢するもの
あつとより。甚よと。和製ハより。劣なり

湯入聖多默ユイリサントメ

苔革圖表

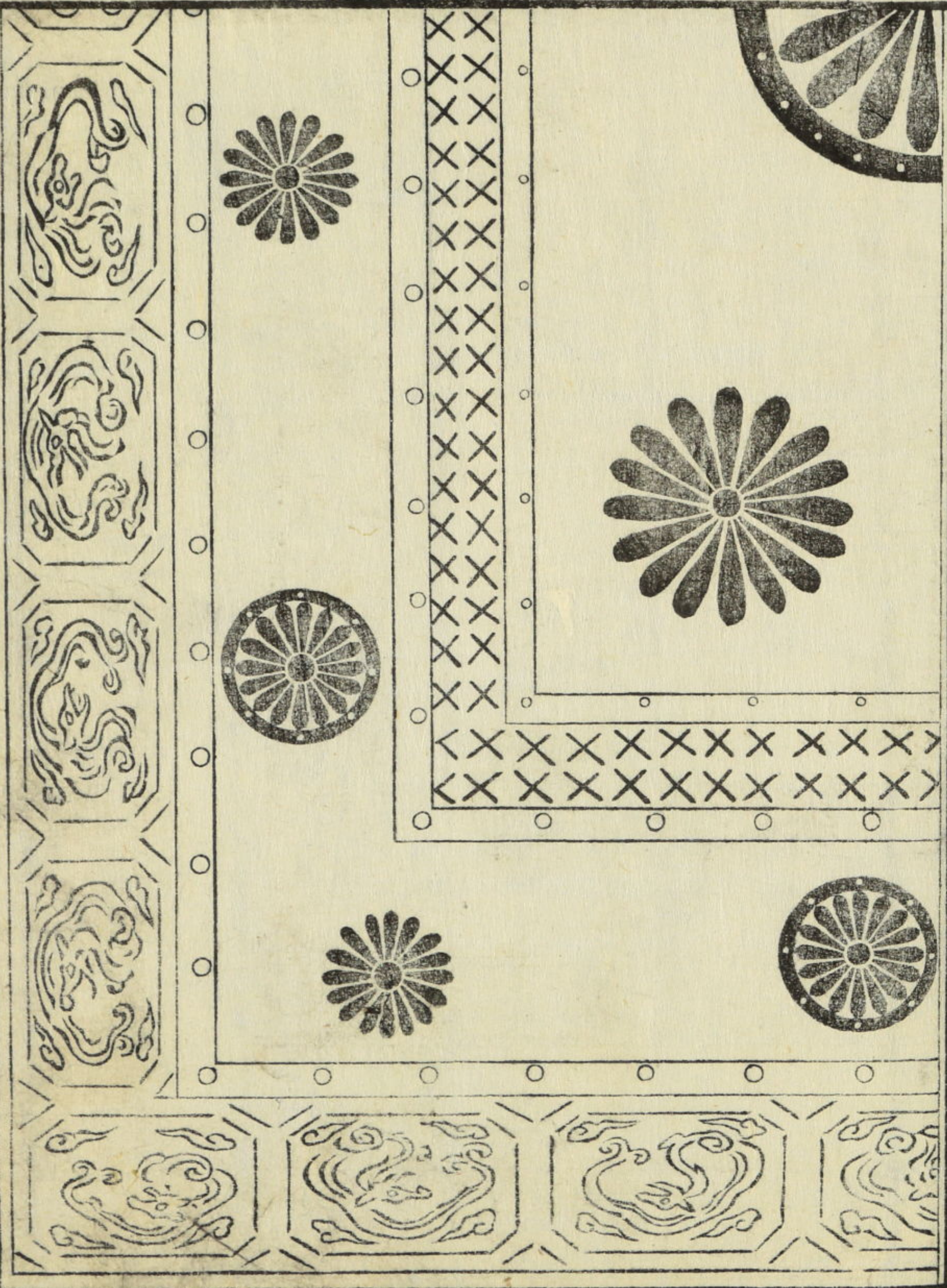


裝釘書賞

卷之六

裝釘書賞

同圖裏



裝釘書賞

卷之六

裝釘書賞

裝釘書賞

て^{ラニ}轉^{テニ}鳳^{ホウ}倒^{タラ}忽^{タチ}透^ス徹^{トウ}も。紅^{ベニ}毛^{モウ}製^{セイ}とくともさう
 人^{ヒト}おなご^{ナギサ}南京^{ナニギン}人^{ジン}とくもさうハ唐^{タウ}おなご

印花^{ササガハ}革^{カハ}

蠻^{バン}産^{サン}はあす。唐^{タウ}山^{サン}の製^{セイ}とくもさう。方^{ハウ}き間^{カン}半^{ハン}許^コの
 大^{ダイ}革^{カク}なり。地^チ色^{シキ}白^{ハク}く。やううなる。緑^{ロク}青^{セイ}生^{セイ}燕^{エン}
 脂^ジのくも二^ニ色^{シキ}く。人^{ヒト}おなご^{ナギサ}銭^{セン}陰^{イン}けり

南京^{ナニギン}繪^エ革^{カハ}

是^{コノ}も唐^{タウ}山^{サン}の製^{セイ}とくも。近^{キン}年^{ネン}渡^{ワタリ}く。の^ノもや。絃^{ゲン}振^{シン}
 彩^{サイ}色^{シキ}等^{トウ}甚^シで。人^{ヒト}事^ジなり。革^{カク}性^{セイ}ハ暹^{シヤム}羅^{ラム}獐^{コビト}皮^ヒ乃^ノ
 顔^{ガン}と滑^{ナメ}せ。めとくさう。た^タも圖^ズを

南 京 繪 革 圖



裝刺行賞



非無音覺

卷之六

卷六

芝
玉
食
盾

夜本新刻

象皮

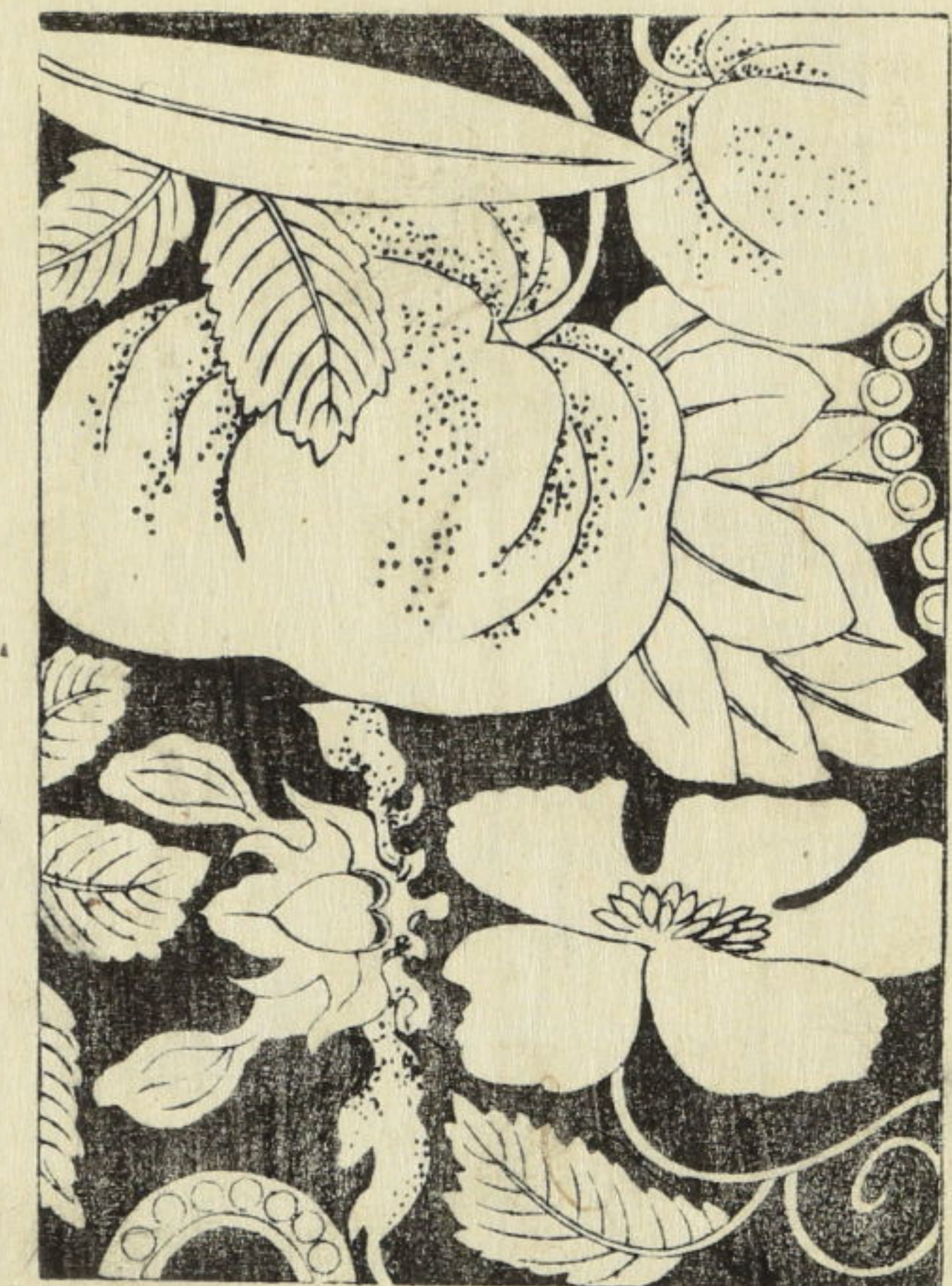
蛇手

色黒く厚さ貳寸許紋甚だ大よりてありし。
薬用ニ使ふもの。裁縫ハ一向用ひざる物。



模様図の如く。地ハ
黒漆ニ銀鑪末以加
てぬるもの。光り
あり。ざら。と云ふ
氣味あり。模様ハ五
色を以てそれ。

山本清右衛門



彩り事。玉。奇。蘇
二。清。き。り。め。の。一。種
蛇。を。う。銭。画。り。も
あり。と。ぐ。ろ。模。様。の
不。ハ。鉄。印。を。て。お。出
して。彩色。ト。云。ふ

の。よ。う。て。蜜。人。の。製。り。方。勿。論。革。の。性。も。う。
一。應。び。敷。を。交。易。お。り。て。金。唐。皮。と。稱。ぶ。萬。寶
全。書。ニ。金。革。金。唐。皮。と。二。品。を。お。し。せ。る。ハ。當。時
多。く。流。布。せ。ざ。り。し。お。り。し。せ。ら。る。と。云。ふ。

升平シヨウヘイ日久ヒサシきりよりて百貨ヒャクワ競キョウひあつたり海外カイワ
 より貢コウとる所年アラタ新アタラなるものゆゑ吾俗ワナミやで
 られを粥ヒサギて主顧シユコのものをさうむらうを辱カクシを辱ナウを辱ナウ
 故ユエに書シに載カとる不シ新舊シキウの問トをすられ
 出デと事ミナ。皆ミナもなまぬあつふより事ミナ。亦ナは
 いづれが

人形手ニシギヤウデ

左サの図ヅにせせり。人物ニホウある紙シめては名残
 稱チヨウを余ヨがふる。四品シヒンあり。地色チイロ濃コイく。模様モヨウハ銀
 模様の所シヨ種シユは著色シキを。大さ八寸ハチサウは寸サウのり。
 山本清右衛門刻

式尺式シキすれり。の革カこ。性セイハ印度インド亜アなり。
 又猿サレ戯シ画カを添ソく。地色チイロ濃コイ鼠ネズミの。模様モヨウハ銀
 なり。おえり。彩色サイシキ下の様ヤウ。銀光ギンカウトミく
 錫箔スズハクれ。大さ八寸ハチサウは寸サウのり。
 革カこ。性セイハ印度インド亜アなり。地色チイロ模
 様モヨウハ。希代キタイ乃ナ拙シツく。又地栗色チクリイロ。模様モヨウ
 此所ココ箔濃ハクナシ。大さ八寸ハチサウは寸サウのり。革カ軟ヤハラなり。
 の。又地模様チモヨウ。一面イツメンは金色キンシキ。大さ六寸ロクサウの
 革カもやちりなり。各人オノオノ拙シツ画カを。入イレり。
 凡オヨソ金革キンカの金キン。箔ハクは。銀ギン箔ハクは。色シキを。け

人形革圖



北無言賞

卷之六

冊

三

山本清右衛門刻

同銀革圖



北無言賞

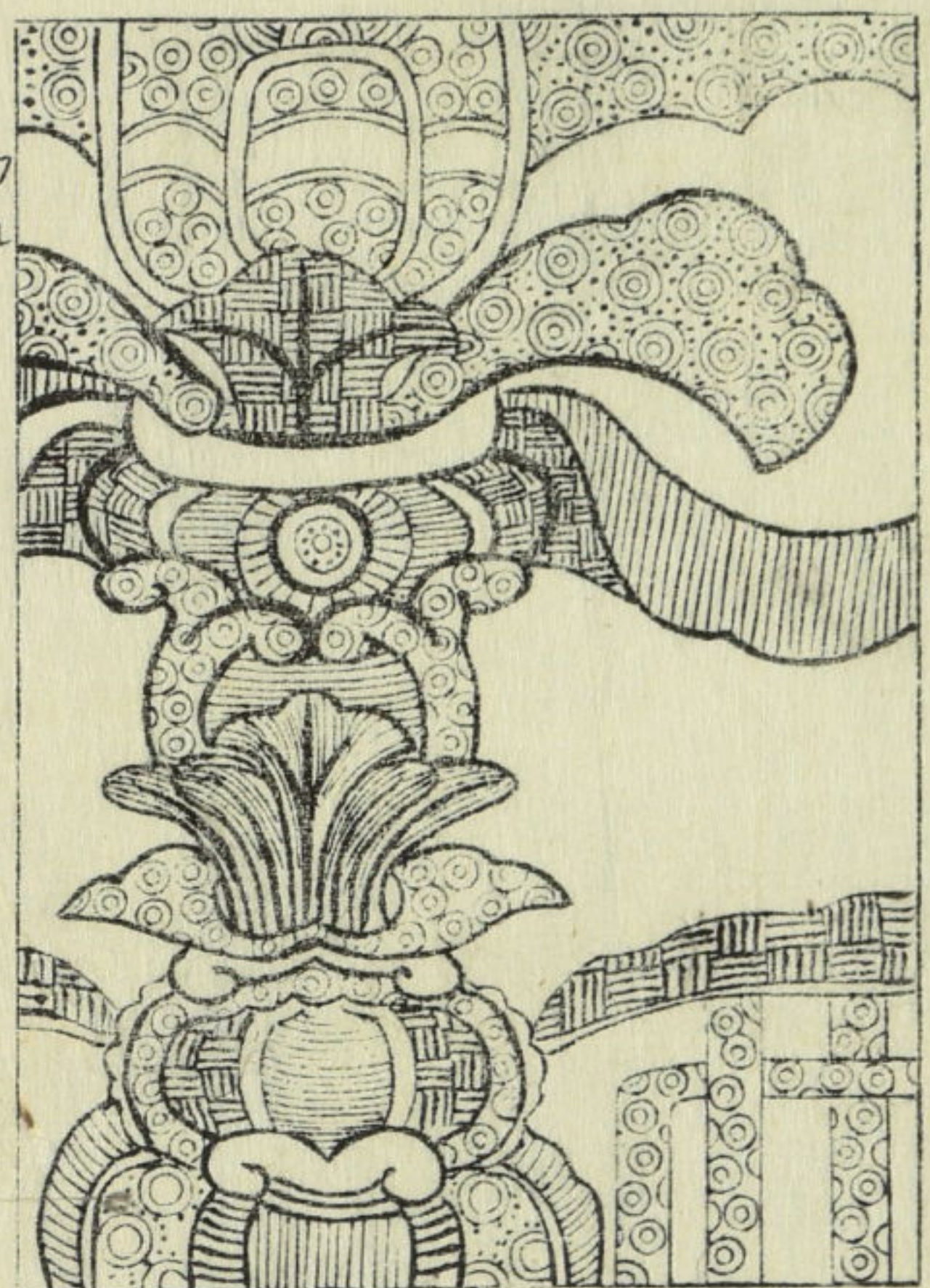
卷之六

冊

三

くろのこて。様様ハとて鉄印ナリ

淀屋革

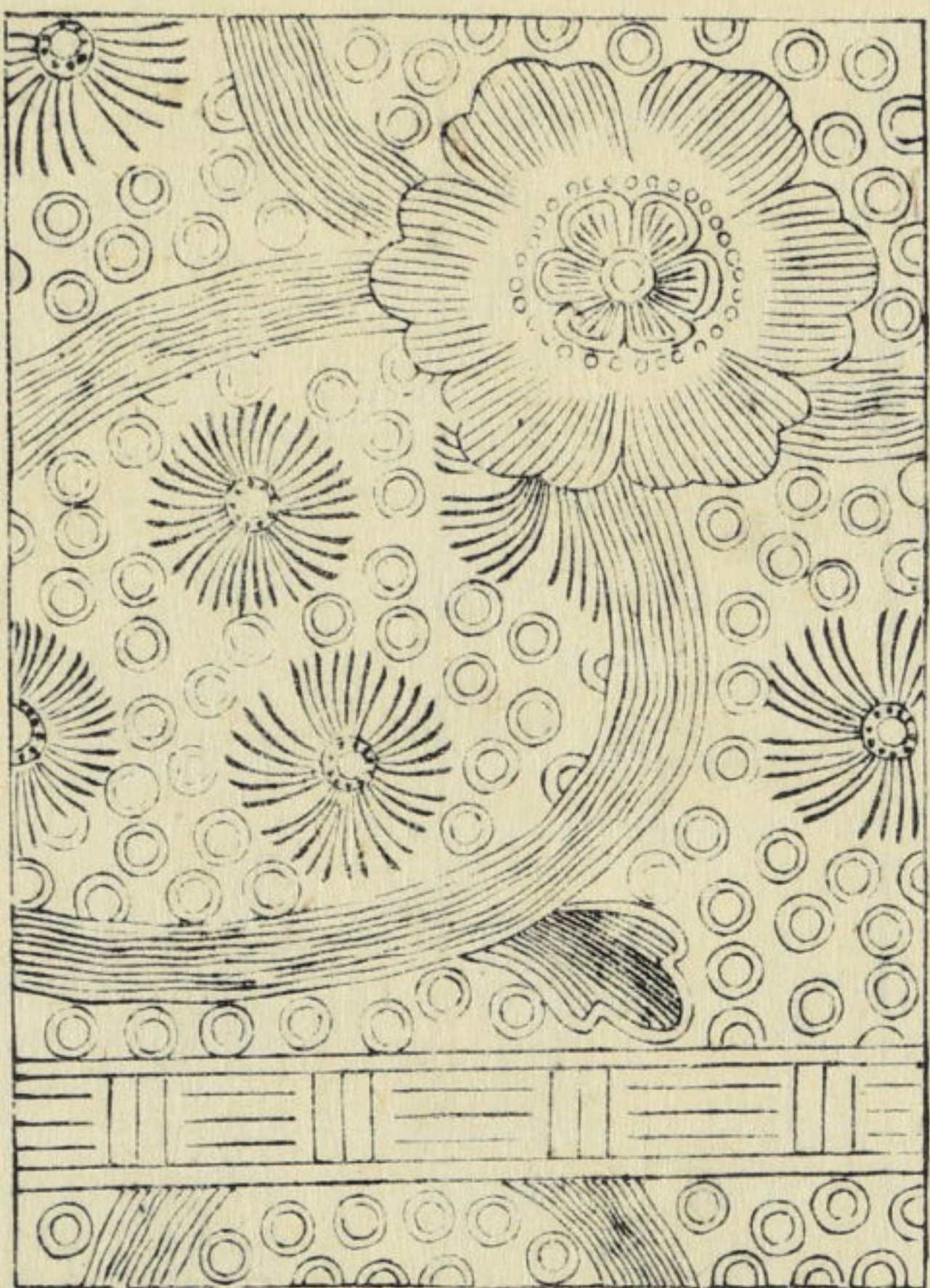


古一往年本府は淀屋古菴といひ一人の珍
花なるやめて名く今多くあるも價貴

極印手

山本清右衛門刻

前といふは金革ハ銀箔成製一なるのな



きよき革の本金
の上を玄色れ
面は色成付て
模様成は
れ
起るの

羅紗手 又火口手氏云

地ハ箔濃く鉄印打ハ模様乃所羅紗れ
全體銀地よてかの所紗れ



せど銀光あつて、
其模様も不一、青と
りの白との、又み色
より、彩りあつて、
あり、太さ式、尺をす、
を尺七寸、又今が太

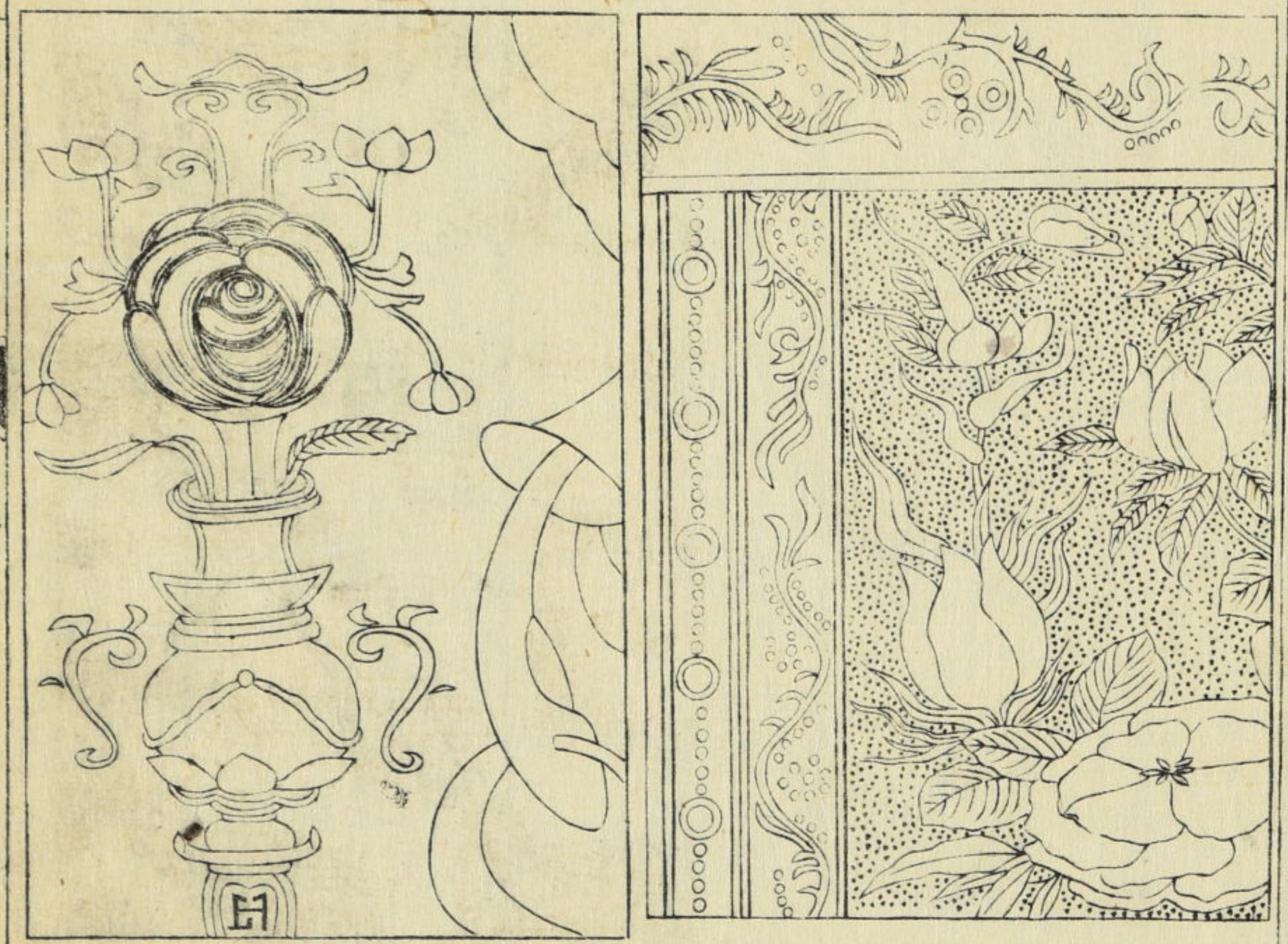
うなりもあつ、性、ハルシヤなり

鏡奩

フランデレン、カ、ミノイ、ヨソホ
紅夷人鏡奩、故よけ名あり、そ
模様品あり、今僅ふそ一二を圖を

花の如きもの、
紅、
甚で美なり、事、
中、最上のもの

模様、
地、濃脂、
ふて、奇麗





地銀チギン一ナ七ナ子のめ
 ち打ウチりあり花ハ
 紅ベニの甚シぐえ事コト

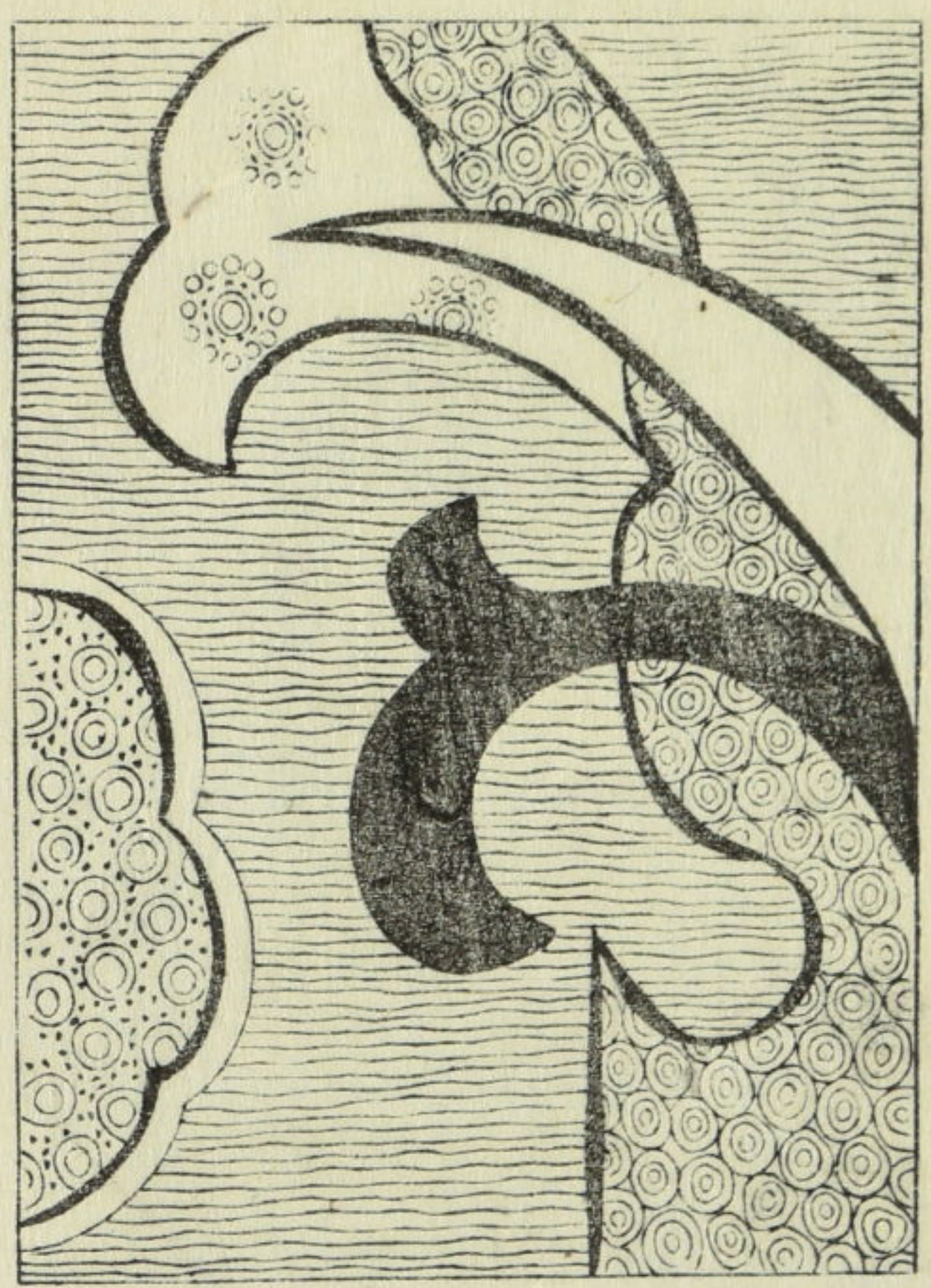
地色一ナず朱漆シユスリ
 青漆セイシツ濃ユキ缥ハナ色ダ又ハ茶ナ
 褐色ヤイロトク等の漆ウルシや或
 ハ石黄キワウ白漆シロウルシなるも
 ありビヤクタン搗ビヤク搗タンハ泊濃ビヤクく

革ウツ々ハルシヤ裁サ裏ラよりささるるのしんシん
 方ウツ一ナ太ホき又五寸四ハ分ハの幅ハなるハ大
 此方ウツハ小ハき又五寸幅四寸七ナ分ハ但摺返フリカヘシの邊ヘリ
 ハ除ノゾクくけり又ス盒トビラの扇トビラ又用ヨナドする革ウツ頗ホド大なり
 又又五寸幅き又あり扇トビラの表裡ウラオモテとも又コシモ
 を張ハリ用モチひハる

王子手タミゴデ

地色雞卵タマゴノカハ殻イロアヒの白イロと色アヒ合アヒして下銀ギンサイキヨ彩サイ清キヨく
 花ハナ井キ禽キン鳥テウ或ハ栗アヒ鼠リス蝙蝠カハホリなど裁サ打ウチり
 又事コト又彩色サイシイなるものなり是金革中第一品

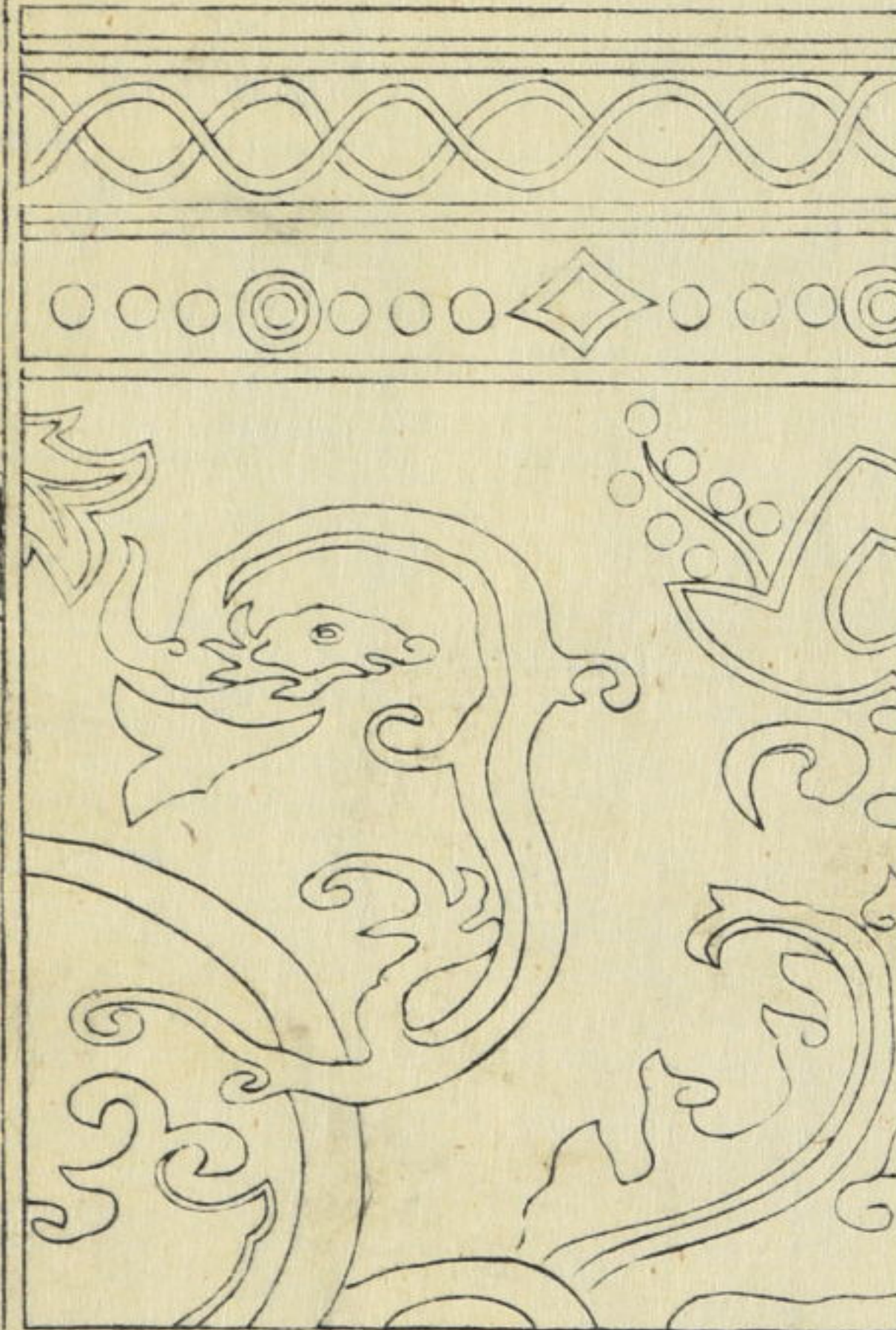
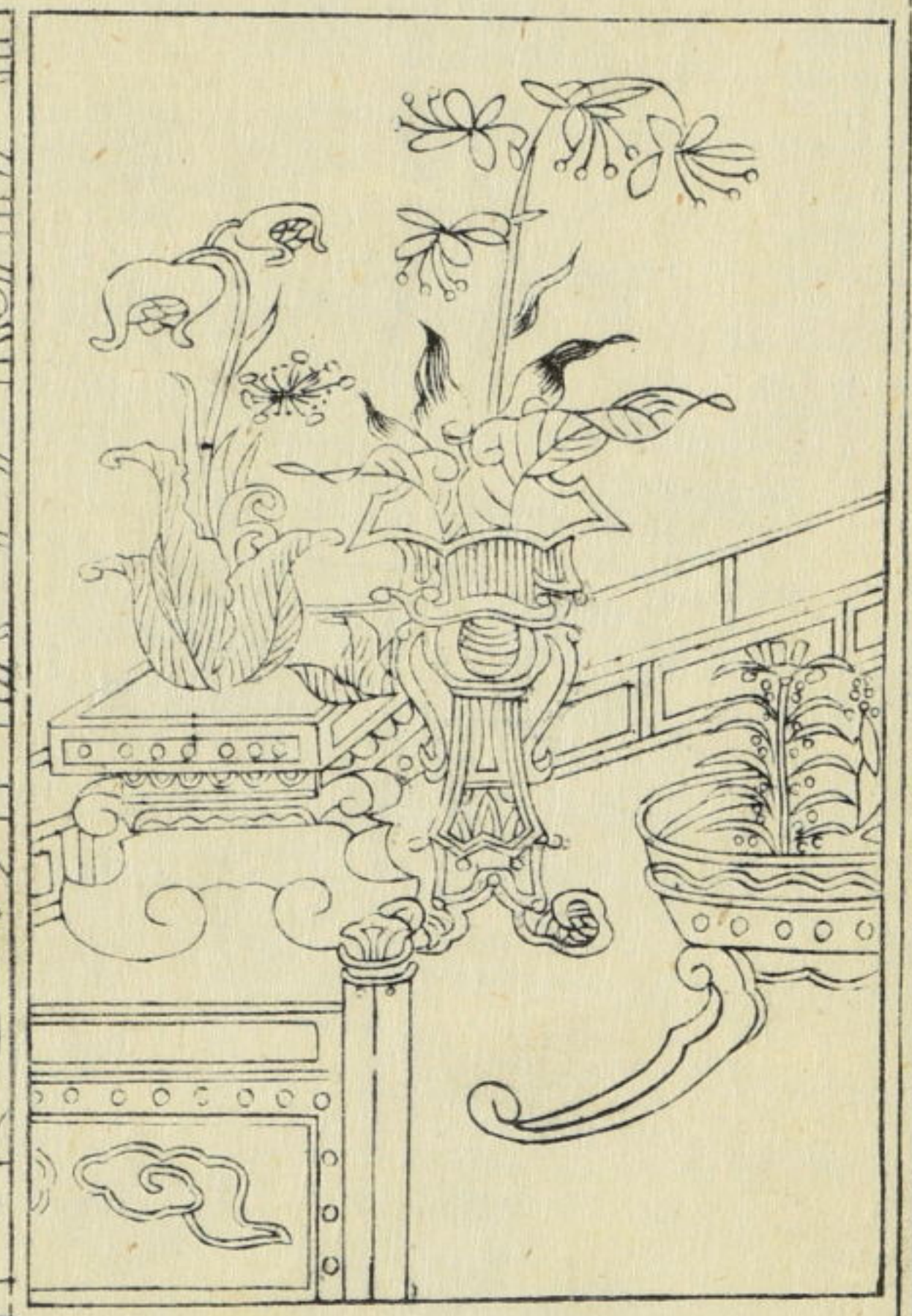
ろくろ 子と稀なり。價も又たふと
花瓶手



全皮の正位より大なる
花瓶より花枝挿し
図ある枝りて名をも
今ハそとて枝寫せ
ふなり。革軟くして下
品のおよあらず

銀革

前より名枝銀革といふ。今とハ別く。

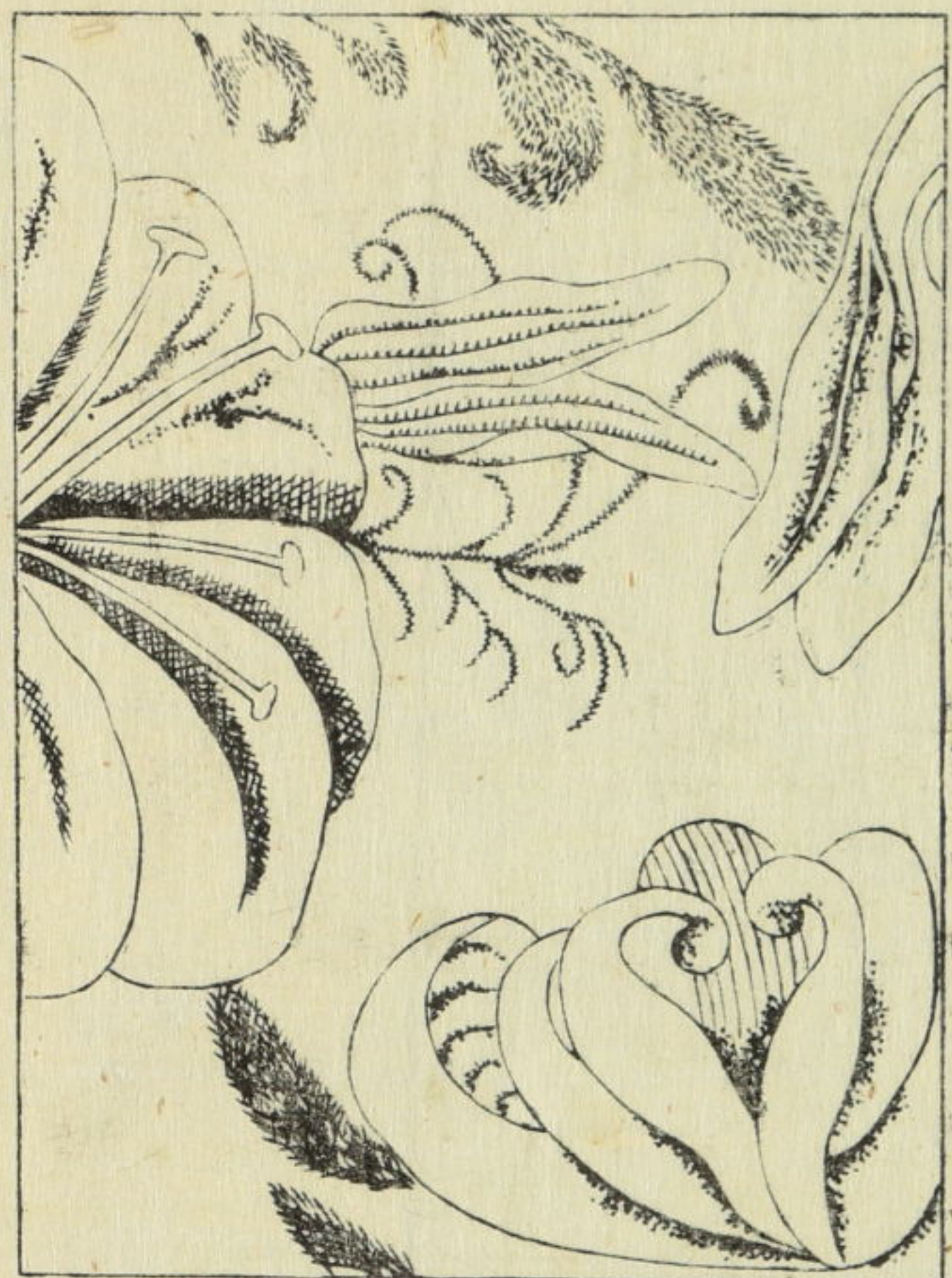


模様図の二つ
あり。一面銀れうすび
やくだんより。彩色
なり。お出いなるおと
革甚でこそ。是ハ
箱なり。枝張て液を
枝刺て裁縫せり。の
ろく。此方より交易す
は。而の大きさ。おとす
よ。を。尺七寸許

卷之六

一名梨地金華

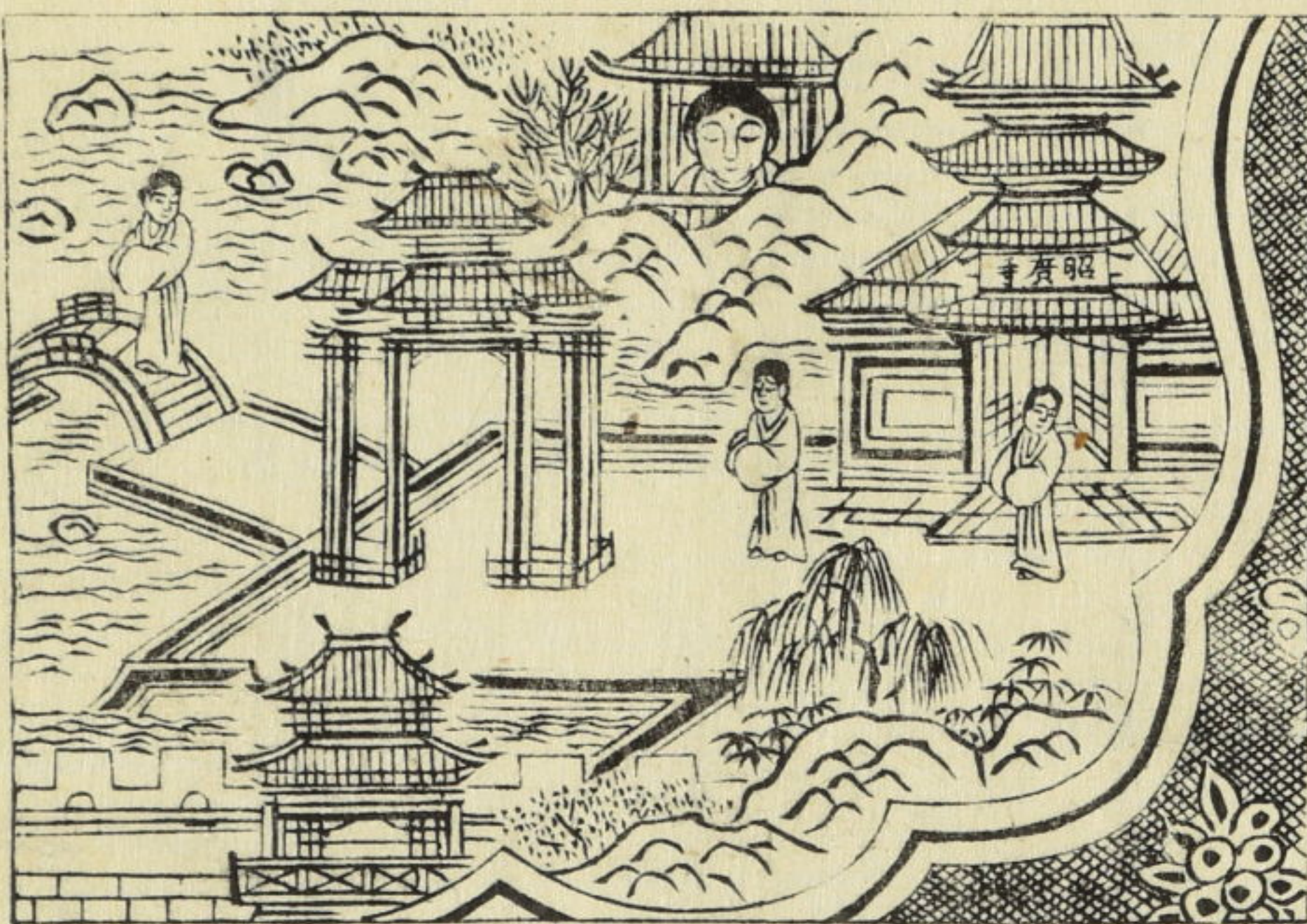
百^ユ合^リ手^デ



地色銀の上代。樺皮
 ねじりやうく。圖の
 ときと撚線マダを起し
 ころく。花の芯レベ。百合ユリノハナ花
 ねじりなる残りて。い
 名あり。革少一硬コハ一

藤江四郎兵衛刻

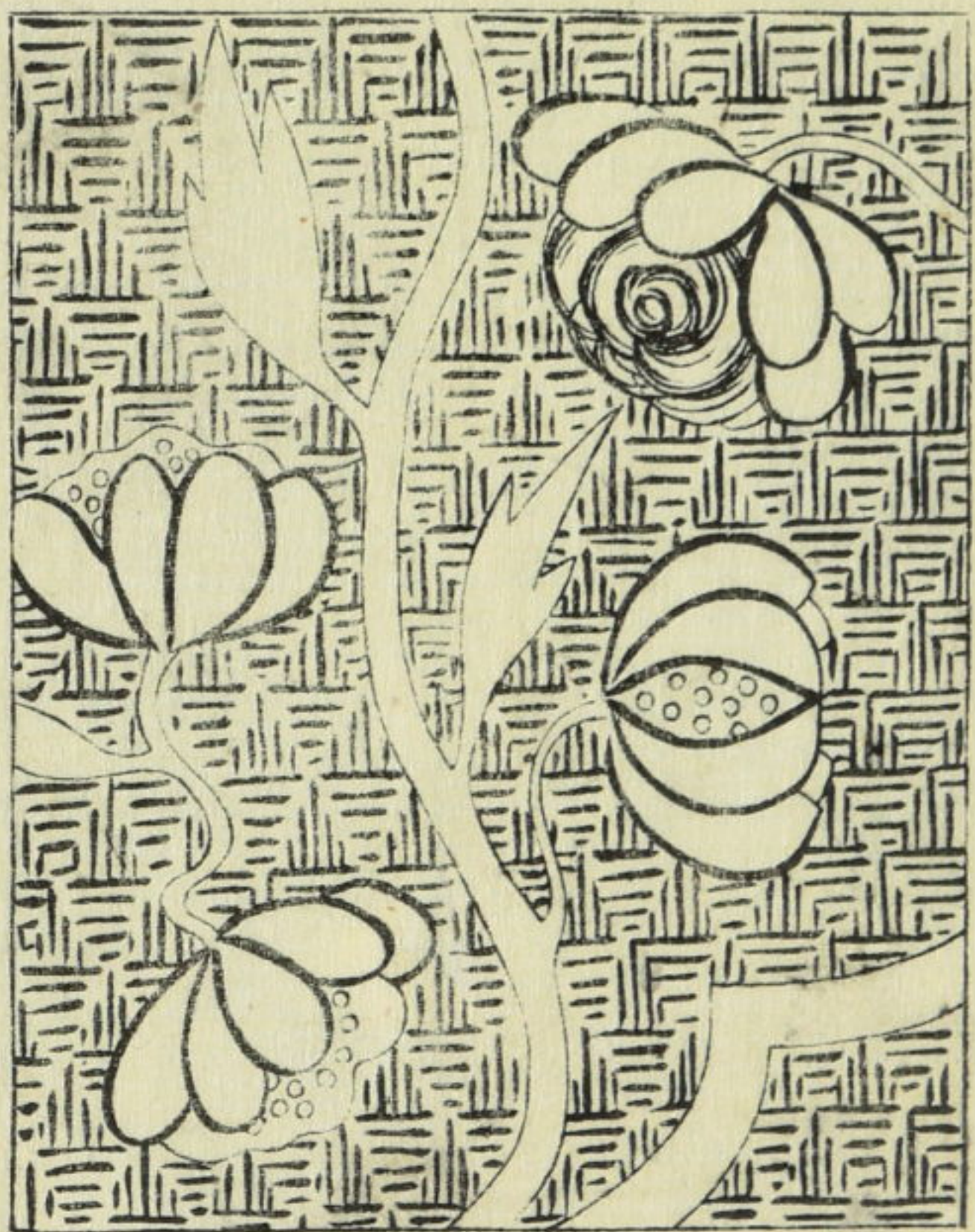
琉球繪革



文庫ブンコ探サウの箱ハコ2張2て後ノチを裁サイ剥リし

下地、朱にてぬぐふ。上、
 比方よりウルミ色なり。漆
 焼かけて、山水樓閣を景の
 人物など、ビヤン、タン 濃と墨は漆
 にて画し、コハキ あらうて、おし
 ころ、コハキ あらうす。そは硬が
 らぬ。さうやうなとせられど、
 折目の所より、朱の色をぬ

拓^ザ留^ク手^ロ



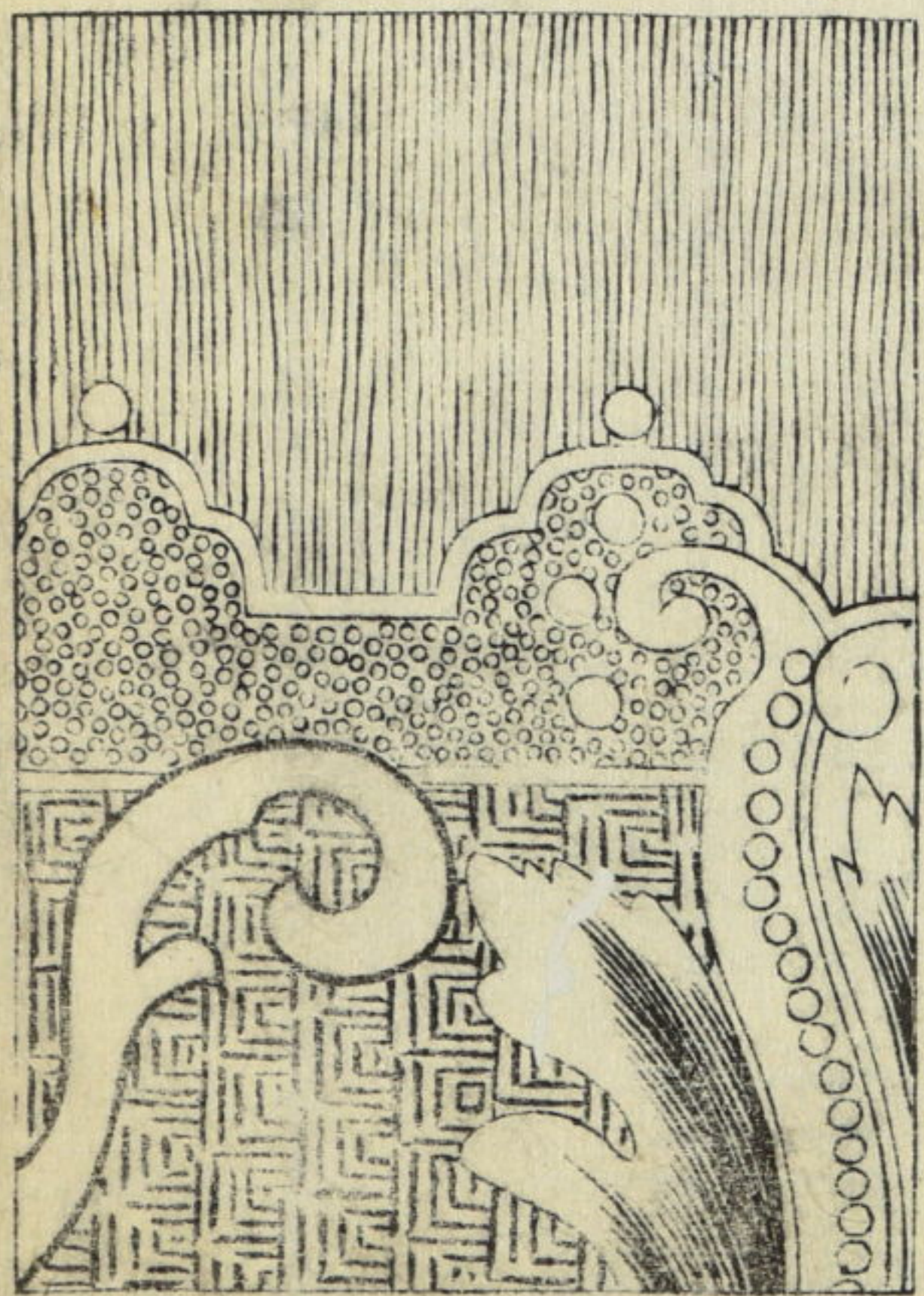
此の如く今より二十五年前より四百張許貢を
所今に流^{リウ}初^{ハツ}よりなりと

青地

大換樣金革

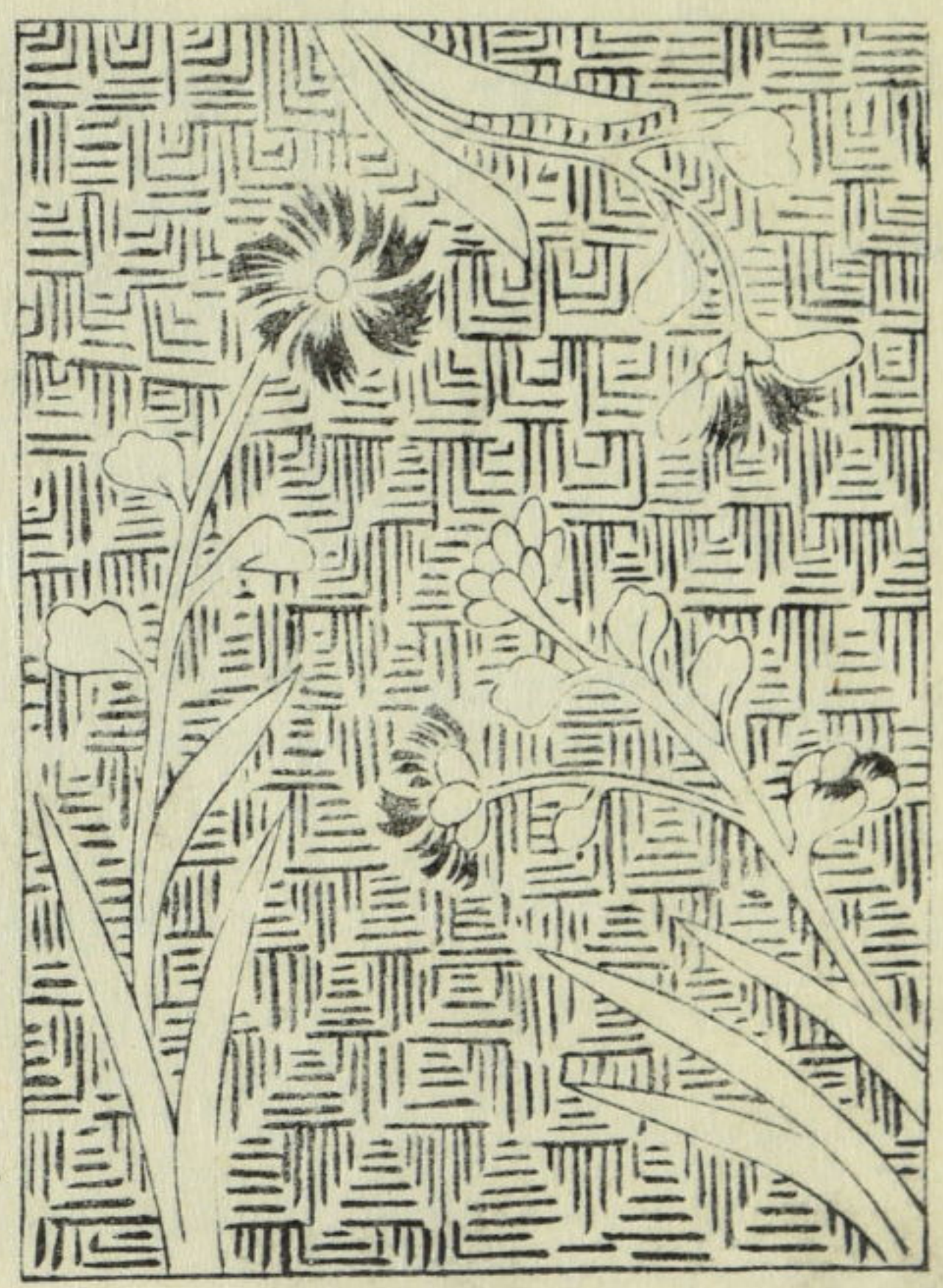


抄採圖のどく。地
 トコロ
 所く少づ彩色あり。
 大さよ又同ドく。革
 性必こけ



地味緑モロギにチヤニ薬成
わうくろくとして、採採図
れく、藍赤白くして、
サイキ 阿井 アカシロ
彩色く、大さ同上革
の性よくし

小摸^モ様^{ヤウ}金^{キン}革^{カハ} 又^サ櫻^{ウラ}手^テ氏^シ云

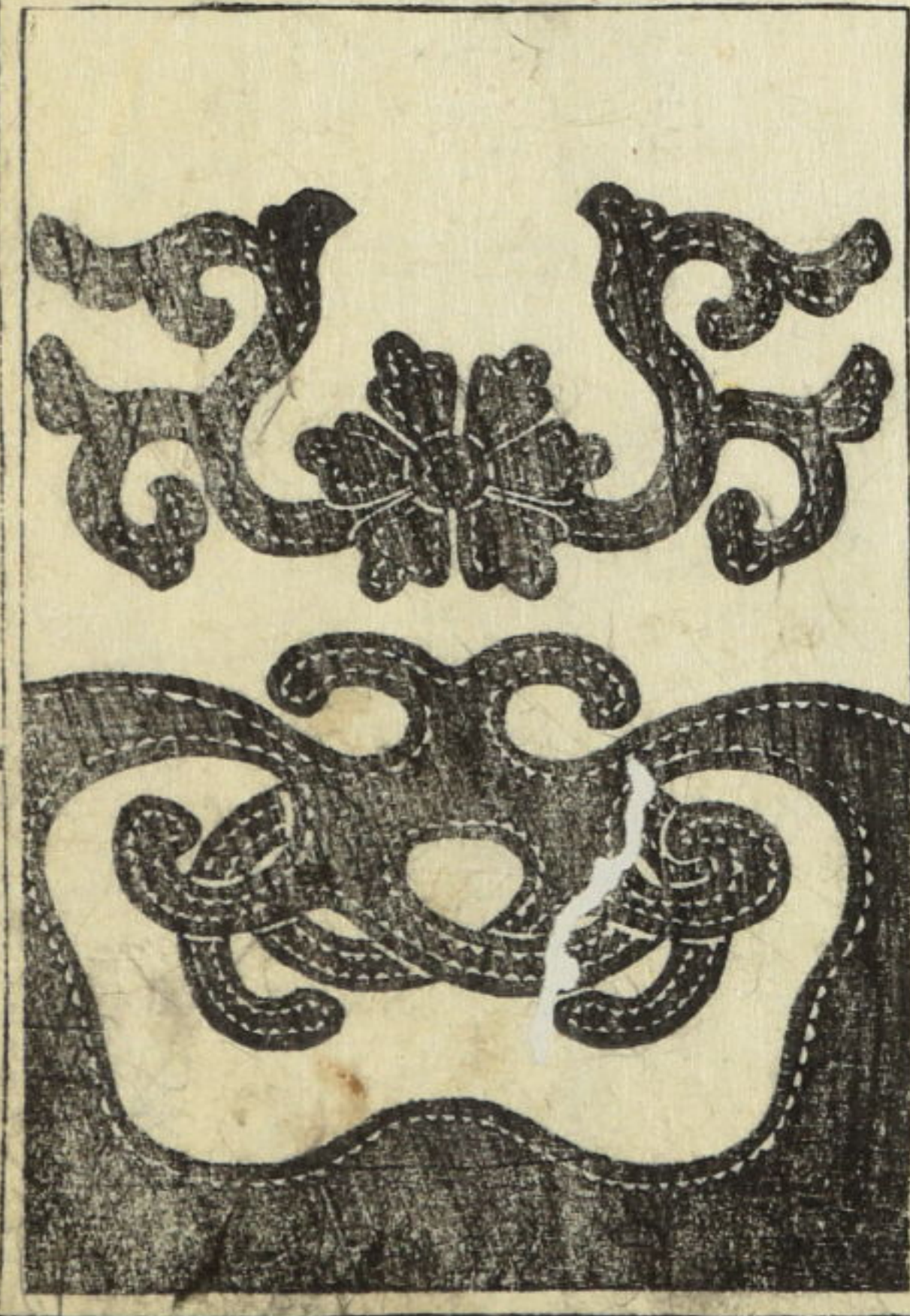


花の茎はろく革性硬く彩色等々で劣る。
 大さ、又彩色上と同様なり。已上四品新渡金革
 古渡^{コワタリ}紋^{モン}水牛^{スイギウ} 前水牛此次へ列せざる意は
 紋の内、絞めよりして地は一皮より剥く。又

淀^{ヨド}縫^{ヌヒ}



是ハ金皮あつゝうど。
 サントメ、ハルシヤ、紅革^{ベニカハ}、金
 革、又ハ白ハルシヤなど、の
 裁^{タテ}ねろく、裁あつゝろく



きうはろくろくど。
 革^{カハ}少^コ硬^{カタ}。

巾着筒乱れ料レウなるはもとモ、宇形座元の
 教成繡補ひスレオキナのく、山城淀府ヤミシロヨドノにて製を甚
 巧タリしく、古色コレヨクなり、他所タレヨにて製するを
 ぞ定造ヨドヌヒといふ

渡ワタリ白滑革類
シロナメシカハノル井

舶来ハクライの白革三品あり、所謂獐皮コビトハ小様コサマのり、
 山馬ヤマウマと稱するものハ、大オホなり、並ナラビ大宛固ダイワンコク乃
 産サンなり、暹羅シヤムの産ハ、山馬同様シヤムに大なり、是ハ
 ハ佩物サゲモノハ用ひられ、唐革タウガハの敷シキなり、
 此コノは縁シメと下十品ハ和革ワガハなり

鶉ウヅラ革カハ

地紋鶉羽カハラバのく、ふとく、
 縄ナハを、これのく、ふとく、
 あ、太の地紋の上ワクシヤウに、
 ち、く、のく、太さ方ハウに、

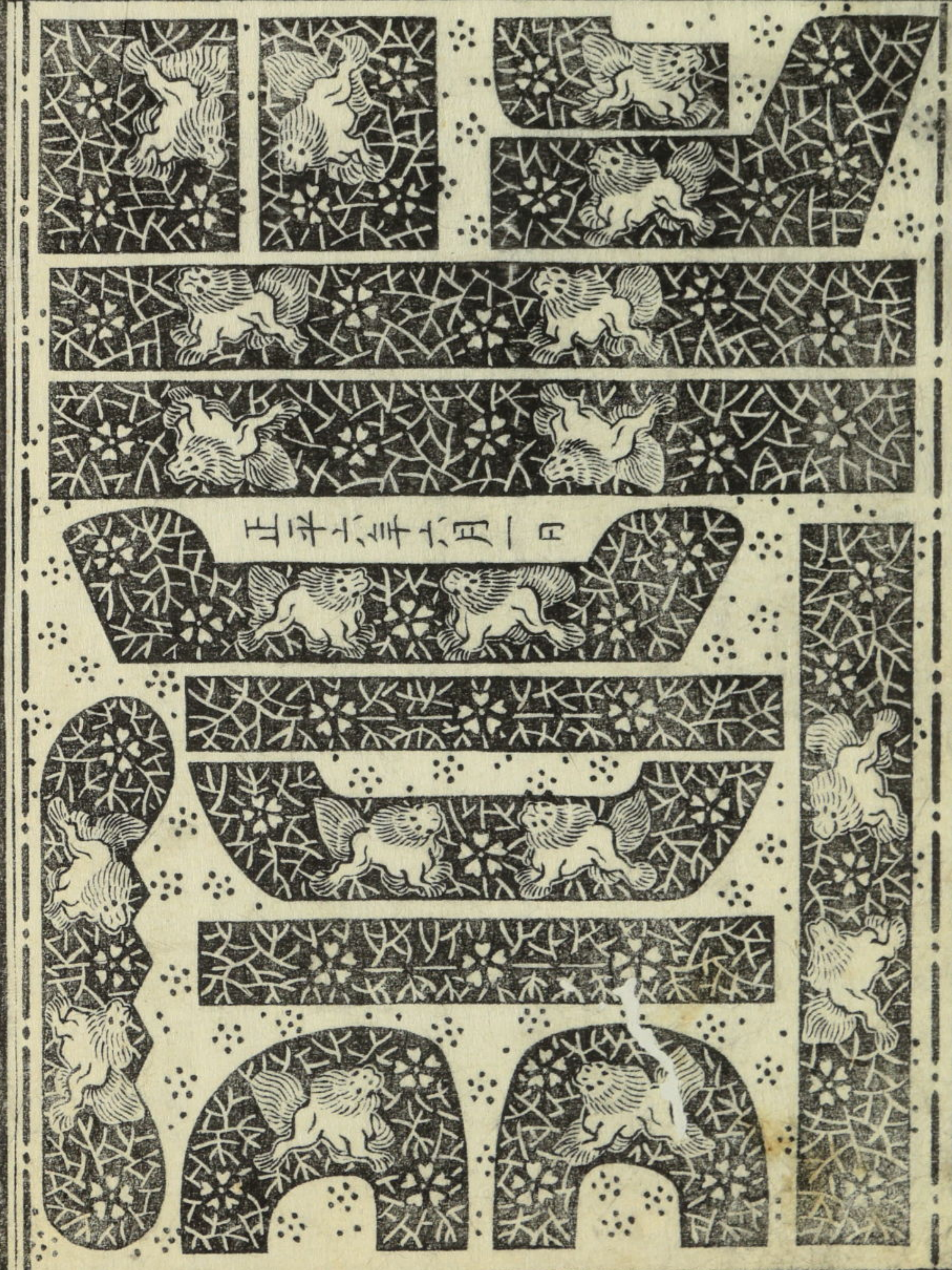
天平テイヘイ革ガハ 附正平革

肥後國ヒゴ八代ハチロ古閑コガハシのけ、
 此料レウ又供ソナふ、天平十二年八月と題ダイを、
 せ、を、後賣買城ゴウバイゆ、
 といふ、又正平テイヘイ南朝ナンテウ六年六月一日と題ダイを、

八代細工所
 桑革屋吉未
 枚アリ一枚中
 二天平十二年
 八月ト有テ妙
 見ノ像及ハ

ノ二字并梵字
等アリ右神佛
ヲ形アル故ニ
ヲ思障ルヲ征
軍ハ代ニヲハ
ケル時正平
年中ニ刻板
ヲ彫セラル
毛ヨリ商賈
の急ヲ得ル
力故ニ正平
ス此板ニ正
六年六月
有テ神佛
ヲ除ク意
テ正平
校與ナリ

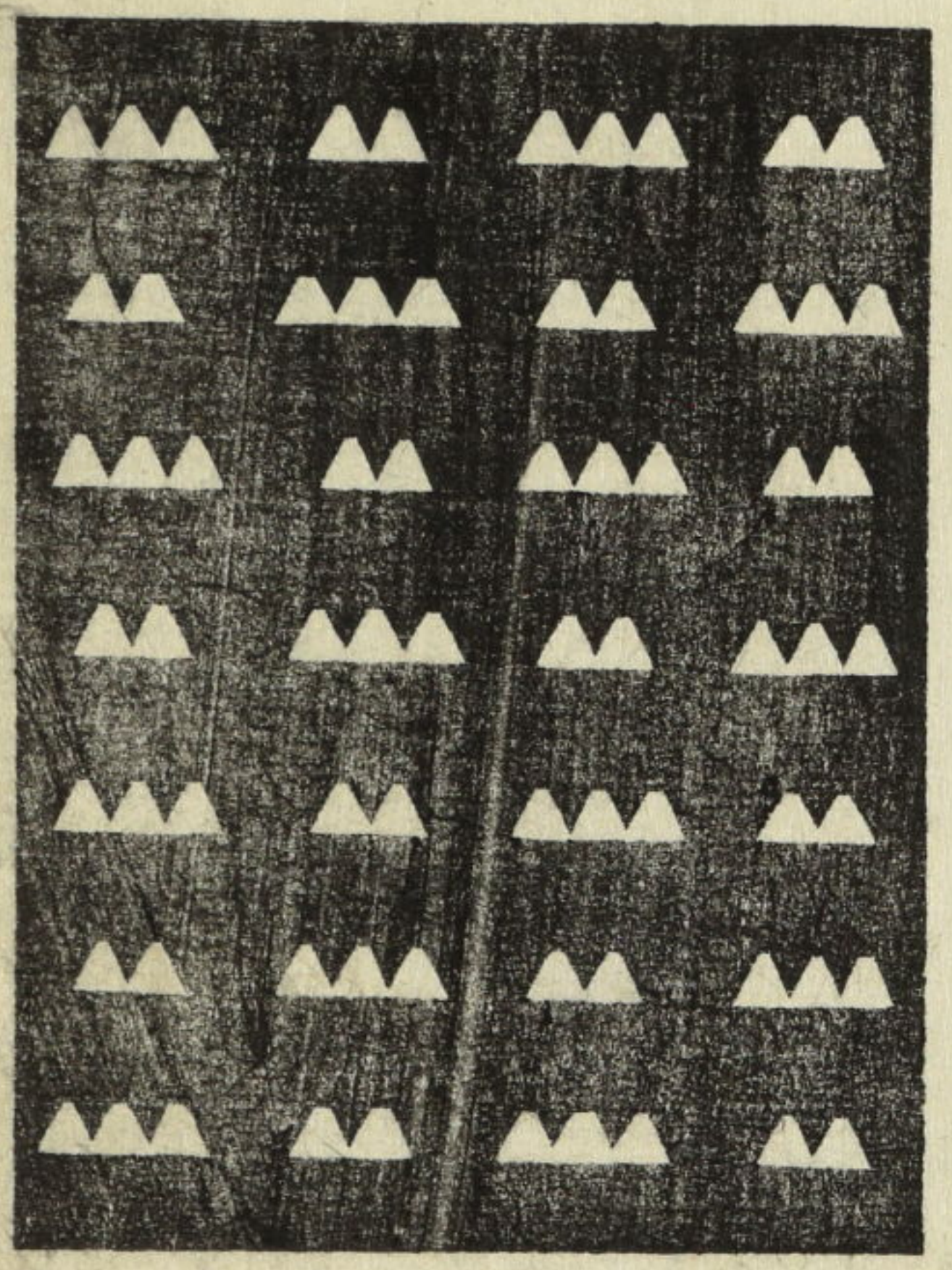
正平革全圖



正平革全圖
卷之六

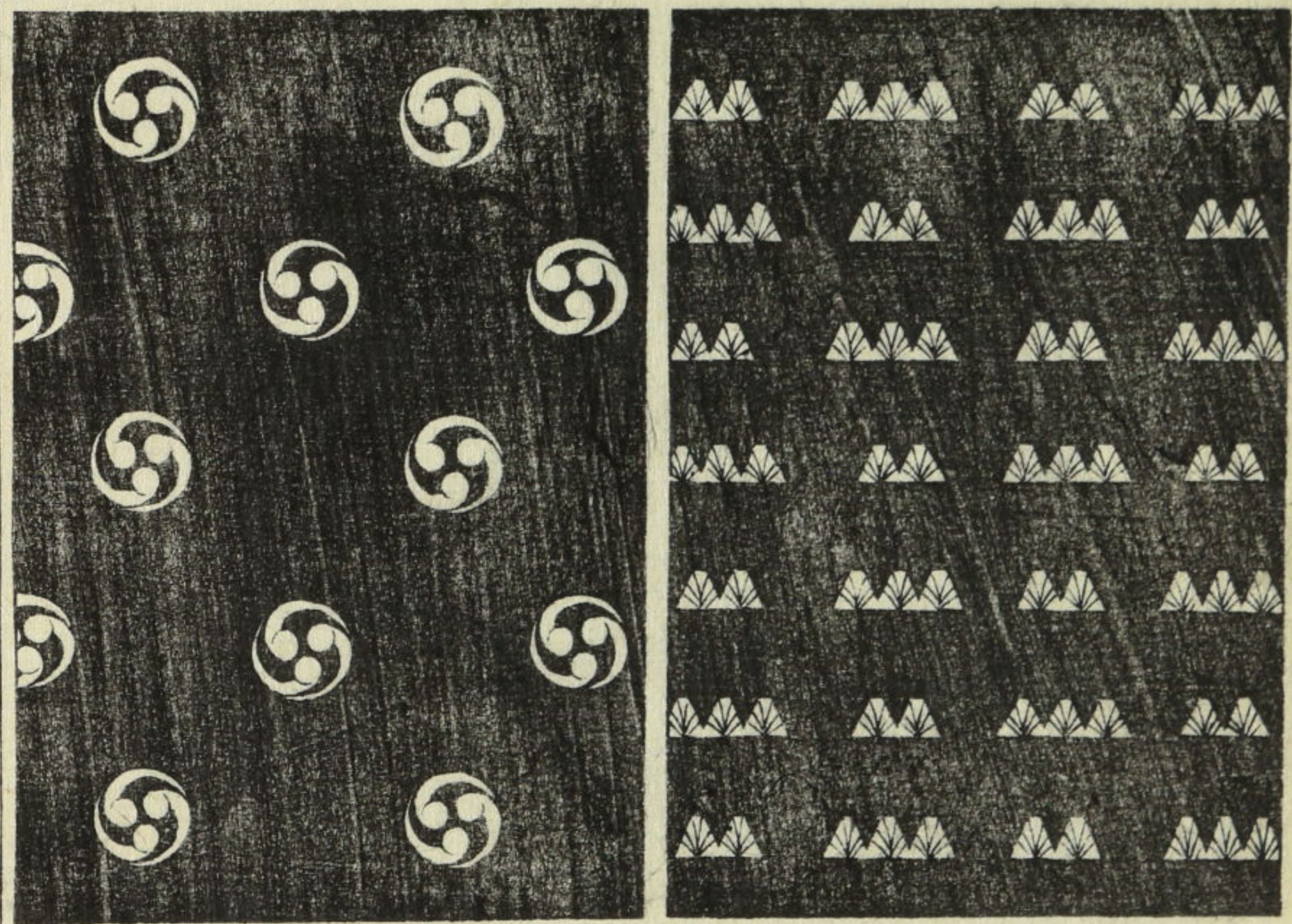
正平革全圖

是正平革と名く、^{カッ}は事々々々近代世談
と書よる。右に記さる。右図れ。
一具とて、金皮と六具收む。
草蒲革



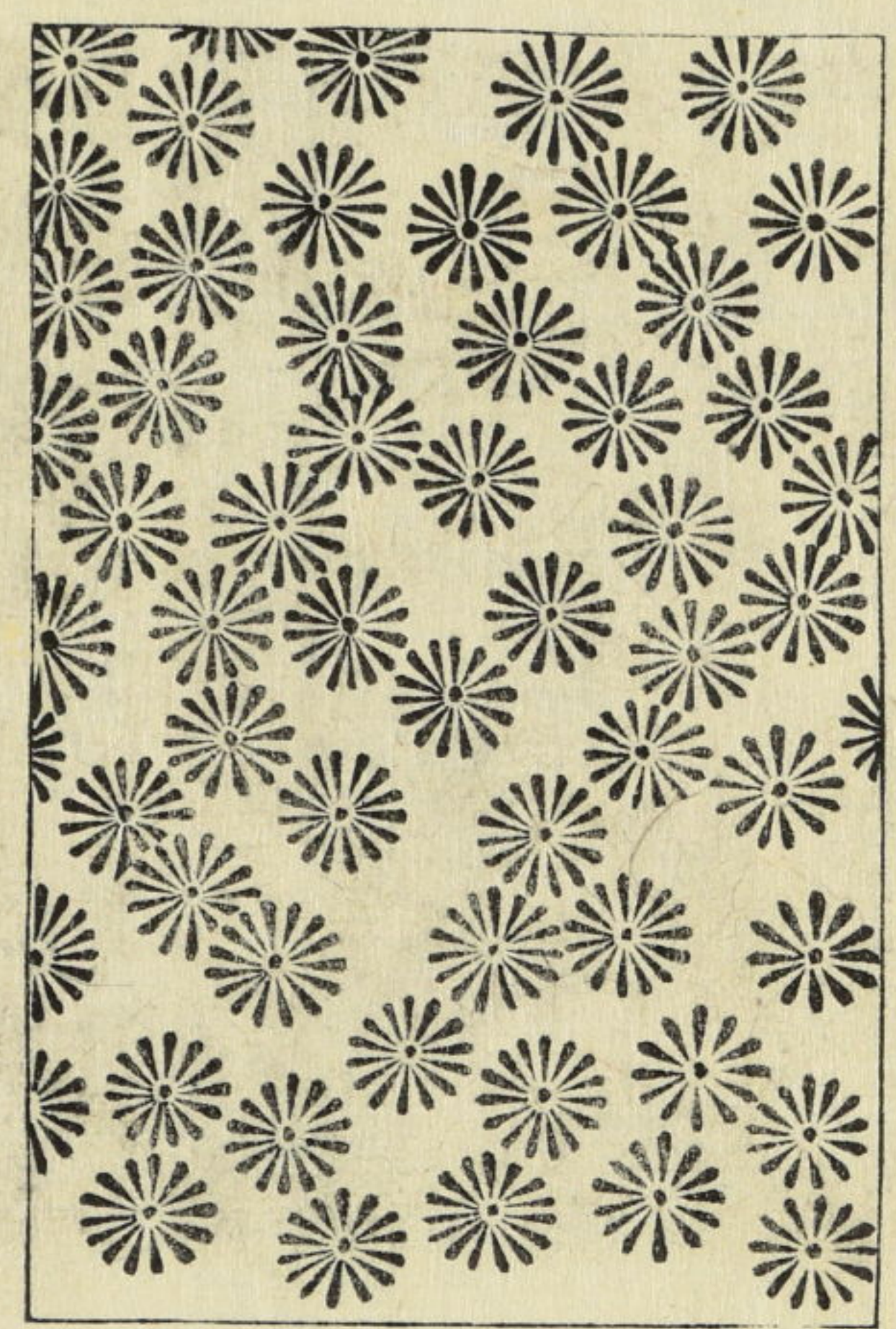
城州男山の麓
往昔深ふ所
是も鎧の威なり
草蒲ハ勝武の義
音と借て、
ふくは亦事談の

正平革全圖
卷之六
正平革全圖



従来^{モトモ}これより^{ユキ}故^コ
 ら^ツ詳^シなる^カ又^{マタ}
 け^ケ革^カなど^ナこそ^コバ
 図^ヅを^ヲな^ニお^シめ^ルも^ト
 テ^テが^ガい^イの^ノめ^メは^ハあ^アる^ル
 一^{ヒト}めん^{メン}が^ガ考^{カウ}へ^ヘる^ルは^ハお^オし^シや^ヤせ^セ
 其^{ソノ}次^ジの^ノ図^ヅは^ハな^ニは^ハな^ニし^シや^ヤせ^セ
 蒲^フも^モ杉^{スギ}立^{タチ}とも^トい^イひ^ヒ
 そ^ソ次^ジな^ニる^ルを^ヲ巴^ハ苜^モ蒲^フ
 と^トい^イふ^フ

御免革



地^チ紫^{ムラサキ}に^ニ染^{ソメ}て^テ図^ヅの^ノ
 一^{ヒト}と^ト菊^{キク}の^ノ形^{カタチ}に^ニあ^アる^ル
 一^{ヒト}の^ノく^クも^モ天^{テン}
 平^{ヘイ}革^カに^ニ似^ニて^テも^モて^テ
 一^{ヒト}の^ノ御^ゴ免^{メン}革^カと^ト稱^{ナヅケ}
 一^{ヒト}の^ノ御^ゴ免^{メン}革^カと^トい^イふ^フ

姫路革

播^ハ州^{シュウ}姫^{ヒメ}路^ロに^ニて^テ製^{セイ}を^ヲ五^イ色^{シキ}あ^アる^ル一^{ヒト}葉^{エフ}の^ノ
 葵^{アオイ}と^ト薔^{キョウ}薇^ヰに^ニ極^{キョク}印^{イン}あ^アる^ル大^{オホ}き^キを^ヲ尺^{シヤク}に^ニす^ス七^{ナナ}寸^{サン}

印^{サラ}花^サ革^{カハ}
みふあり
紅^{ベニ}革^{カハ}乃りのハ、は中^{ウチ}よりそ直^{カウジキ}なり

前^三もは名あり。今と別なり。是ハ、その様
を江戸で製し、そののち、大さき人部すゝ
八寸あり。

大^{タイ}明^{ミン}革^{ガク}

二十年許ハカリイゼン已前京師よりて製を、
くくと革の如きものなり

類ハル違チガヒ

白滑革。又ハ古きものを革など残茶汁・チヤルにて洗ふ

虎^ノ皮^ヒ

ふを

交易のりの多く雲南ウシナシ柬埔寨カボタよりわくと掛目カケメ
大なるりのハを費七八百目小なるハ五六百目
よそのオモのきとなりもあり以下毛皮の類をアヒク舉

豹^{ヘウ}
皮^ヒ

洮州テウシウ
 又湖廣ユクワウ
 出於ユ
 通商考ツウショウコウ

羊皮

古渡れりの色白く鮮アザヤカなり。新渡ハ爲タ良ヨシく奥クハミあり。諸蠻夷より出イせしもの西天セイトンニ乃産ウ成ナ佳カし。

メツプ 文字正名等未詳

全躰綿毛茶褐色ワタゲ チャイロ毛先黒ケサキ油氣有アブラケアリ
てキユ滑ナメせシウキ臭氣頗除ヨホドク是も臭
所相前の産なり

アザラシ 一は水豹れ字残用ふちるや否残ちるす

毛色メツプれヘウヒて豹皮のゼニガタ銭形

れ文あり油氣臭氣等前より同トは相前の産

ニク 古来羚羊の字を用ふ未詳

全躰毛茶褐色ケサキ毛尖黒く綿毛白く其毛長く

鹿胎皮シカンハラゴモリノカハ

皮ウス文鮮なりフ アサヤカ

熊皮クニノカハ唐熊をよとと湖廣の産テニノカハ貂皮茶褐色キツチノカハ光あり

鬼皮ウキノカハ色なり光あり狐皮

附 アニペラ 水草残以て織オリるものなりアニペラ

ハ符簾カウタウ此唐音なり残いへる符一は符は

作て符簾唐ハ蘧アジロ蔕ニ似て直文タツヨコオなりヤウ揚

子方言の注チウふレハウゲンしチウ今バニジンのアニペラハ符ロウ

簾ヌウの精品セイヒンなりホルチルコクのオオル蠻人の製なり通

商考又淳泥國コクより織よりコなりバ

革属カハクダクヒはあつたれども佩物等サツケモノは用きばるゝ

られ銭出せり

○印籠工名譜

凡印籠の名義メイギ説セツくあきども未詳故は略す
今録ロクするに印籠師名有て氏アをいふ氏ウヂの
稱ナリして名のきこえざる等とて名メイ姓セイ字ジ號カウ
よかりずいひならゝまうせてられあは
むタ只オ思ソふサ深ベウあはん事キ代キ識者正焉

梶川

梶川彦兵衛弟子
江戸中橋檜物町住

印籠工古今第一れ名人故に其價甚貴し一い作

重裡ヂウリは刑部梨地又平目梨地ヒラメ圧オシつあり

事なりえ祖より今もそので其名代おとす

えハハエの名家といふべし

古満休伯

江戸中橋住
二代目久藏安田トイハリ尤名人

御印籠蒔繪師

是又梶川と等しと名人なりえ祖より當代も

そので家聲と減ゲやど名家なりけれ

觀子破笠

江戸人

上ウなるべ人の名義メイギも必カナラし樂燒ラクヤキハ堆朱ツシユ又ハ
漆角ソウツなり銭ありし仕立事甚シて風流なり也
なり是又一名家といふべし

近直呂 姓氏居住等未詳

春政 姓氏未詳 京師人

塩見小多房の父と云。時佐の上と云ふ

塩見小兵衛政誠 京師住

磨^{トギダ}一筋のみの多一甚と奇能^{キレイ}と云ふ

加兵衛氏

其加兵衛練と云。京師の人

常加 山田氏 江戸南塗師町住 御印籠工

法橋光琳 稱勝六號青々堂 京師人

光悦門人として凡流の好士なり。画をよくし亦

「あゝ印鑑ハ光悦好のからなり」其時

迄ハ所謂^{イハユル}琳凡の迄とて青貝からいふ

形を摸^モ一^{ウツス}地を粉^コとて内と梨地を用ひ

すやう金粉^{キンコ}濃なり銘ハ蓋^{フタ}のくす錐^{キリ}の尖^{サキ}

くす^{ハツ}と其名^ナ浅^{アサ}なり

田付孝則^ハ 江戸人歟

同 セウ女^メ 孝則親族歟

桃葉齋 稱源六^ハ 江戸住 阿州御抱

野村九圭 稱次郎又^ハ 江戸住 上手

同 樗平 稱次郎兵衛九圭弟 江戸住

圓阿弥丹後

江戸神田永富町住

上マキの時繪結構マキとして甚マキなる事なり

幸阿弥因幡

同 皆川町住

是亦上マキなり其作丹後マキ等一

奈良八左衛門

江戸住

望月重蔵

同上

狩野十旭

名建元木村氏稱文次郎

江戸住

巢野不幽

名重春木村氏稱甚右衛門

同上

温故長寛

江戸人

覺カク々ク齋サイと彌ガクと上マキなり

土田半六

江戸赤坂住

刑部太郎

江戸人

奥村四郎兵衛

同上

鈴木正義

政

京師住

安川

其名未詳 大阪住

友忠

根付師ノ條ニ出

時繪印ハ龍ハ裁セイ製セイとしてあハ象ゾウ牙ゾウとして彫テウ成セイ

図ヅとして七賢人シチケンジン六竹ロクチク虎コ裁セイ彫ハ起キとして巧テウ成セイ

時繪師市兵衛

大坂追手筋

貝入さび印籠師なり

清兵衛

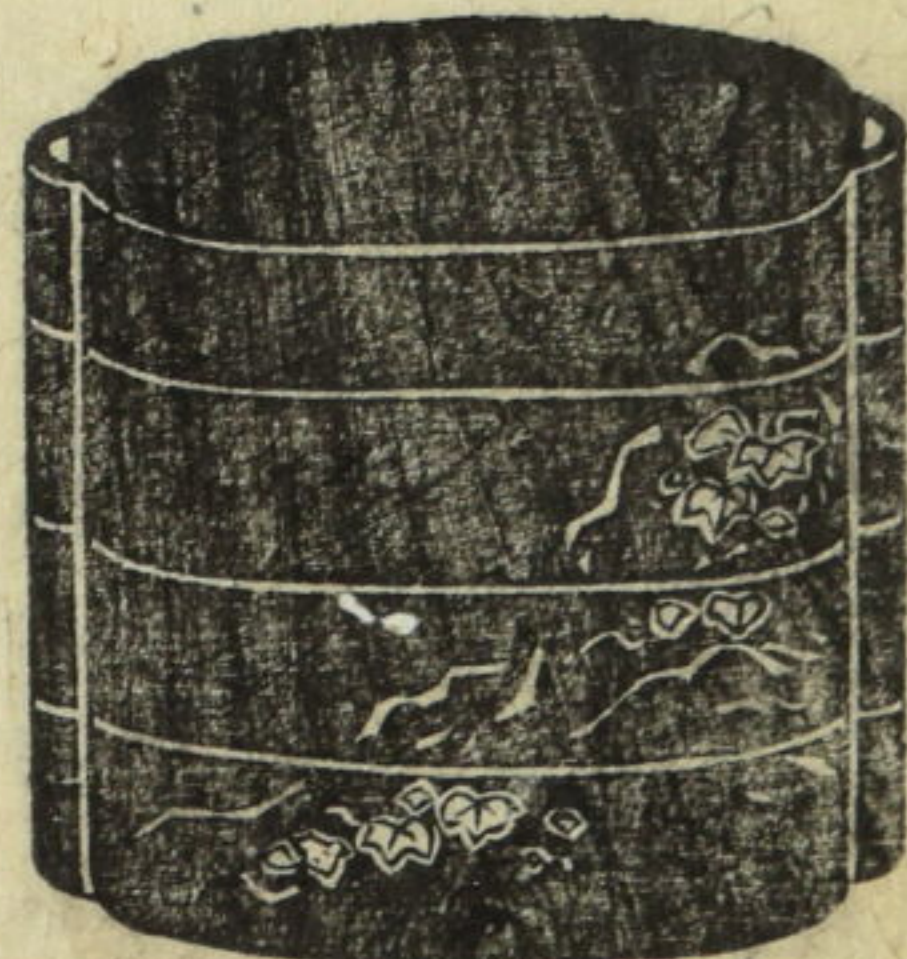
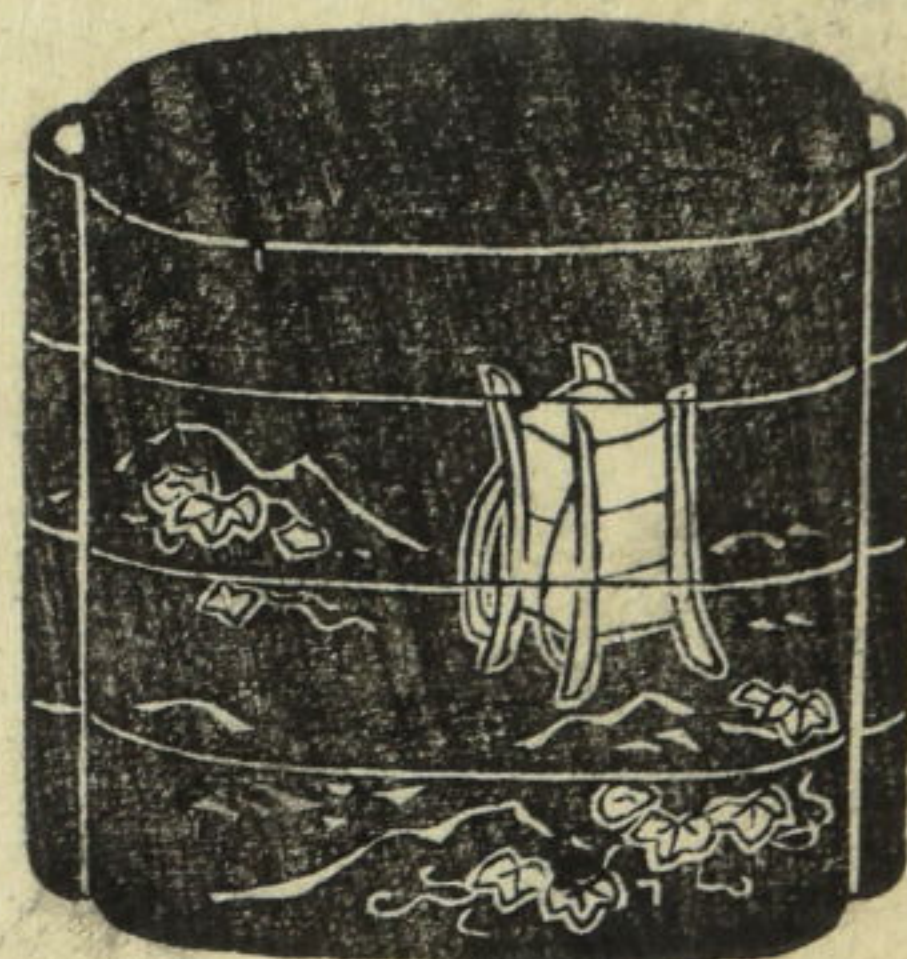
大坂伏見町邊ニ住

甚上りて。其は清兵衛のバラ印籠と稱
て。賞散とバラ印籠とハ。重姓バラく。合
そ。下を上の重合。裏姓ありて。合
て。も。合。く。同。一。増。梅。なる。姓
く。つ。し。余。弱冠の比。江府へ。時。數
奇屋川岸に住せり。児島新といふ人。掘川
古満など。上作の江戸印籠を。目利。事。姓。に。

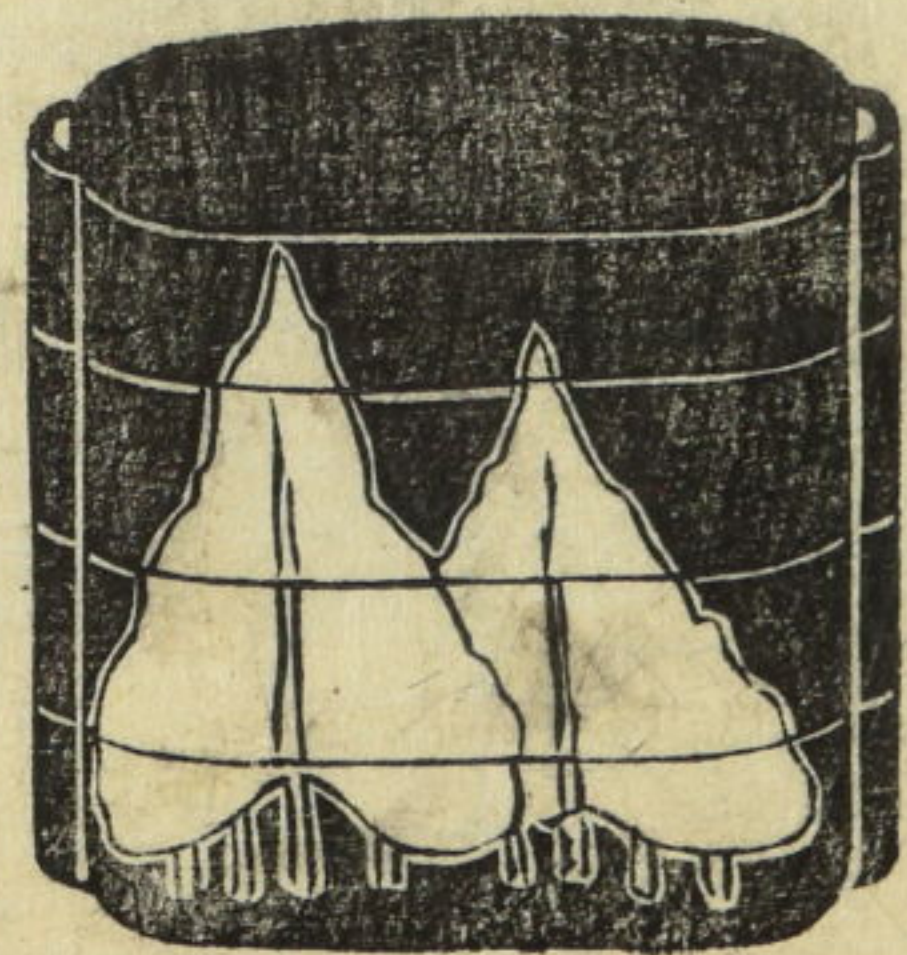
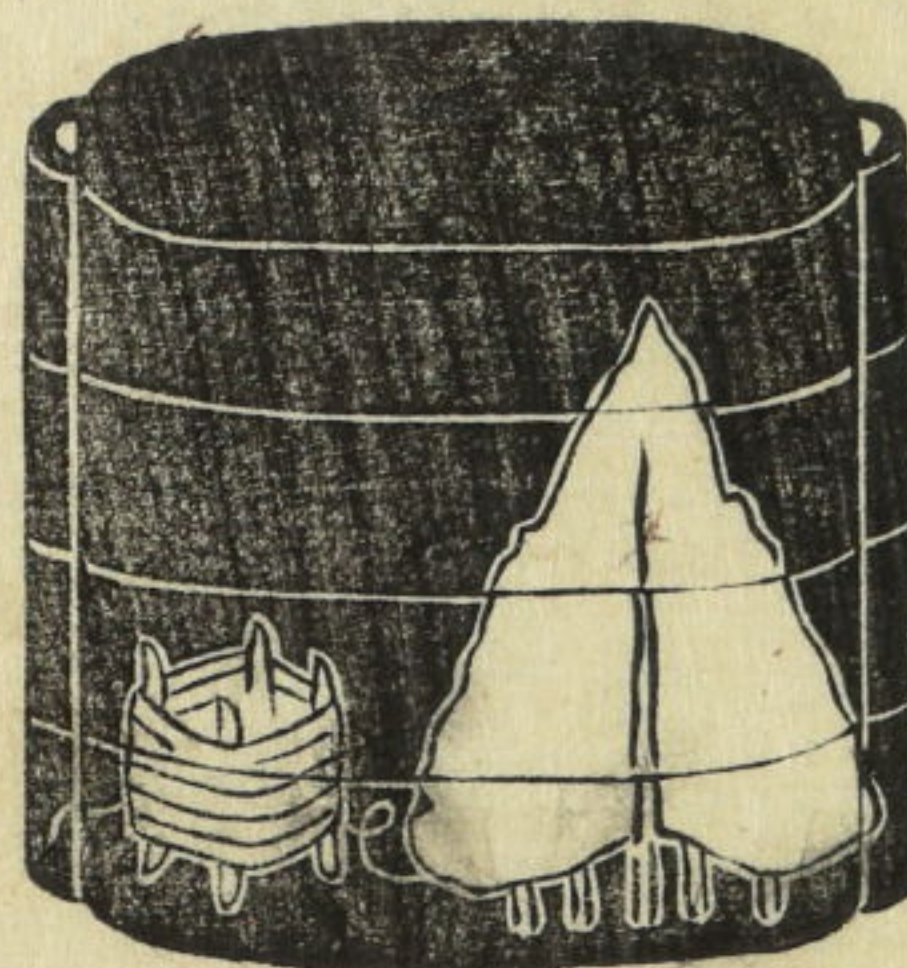
授せり。上作のめ。氏。又。極。む。ハ。
右。バラ印籠。め。く。合。せ。て。其。肯。際。氏。得。
を。上。印。籠。の。約束。と。さ。す。一。氏。あ。へ
ら。氏。承。け。る。を。試。さ。す。事。なり。さ。て
い。き。を。い。く。鑑。識。せ。り。十。ハ。九。や。で。得。れ
事。なり。是。商家。の。秘。とい。ふ。児。島。氏。の。功。老。
なり。一。氏。さ。告。ぐ。め。る。と。さ。す。ね。
は。氏。の。家。の。宝。の。頃。
岡。東。へ。め。され。し。不。幸。く。箱。根。の。宿。に。病。
く。没。せ。り。

生カ貝入名物印籠圖

ゆきふり
やのうら
うはれ
なま
はるの
みち

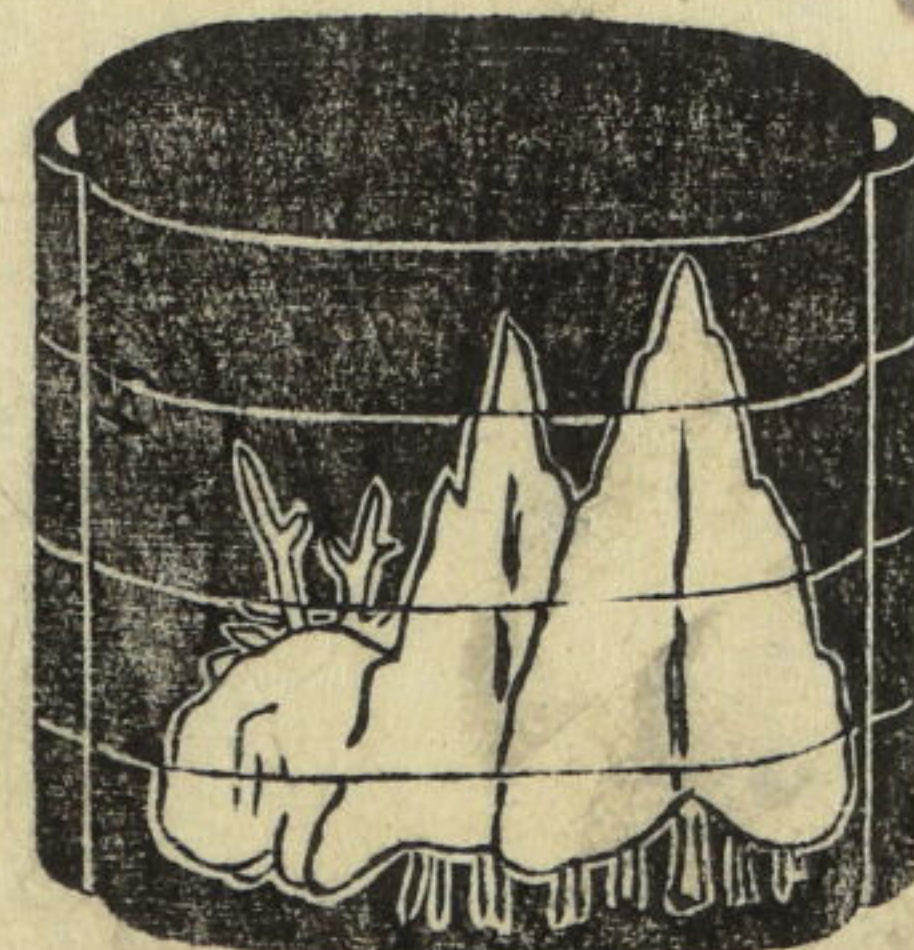
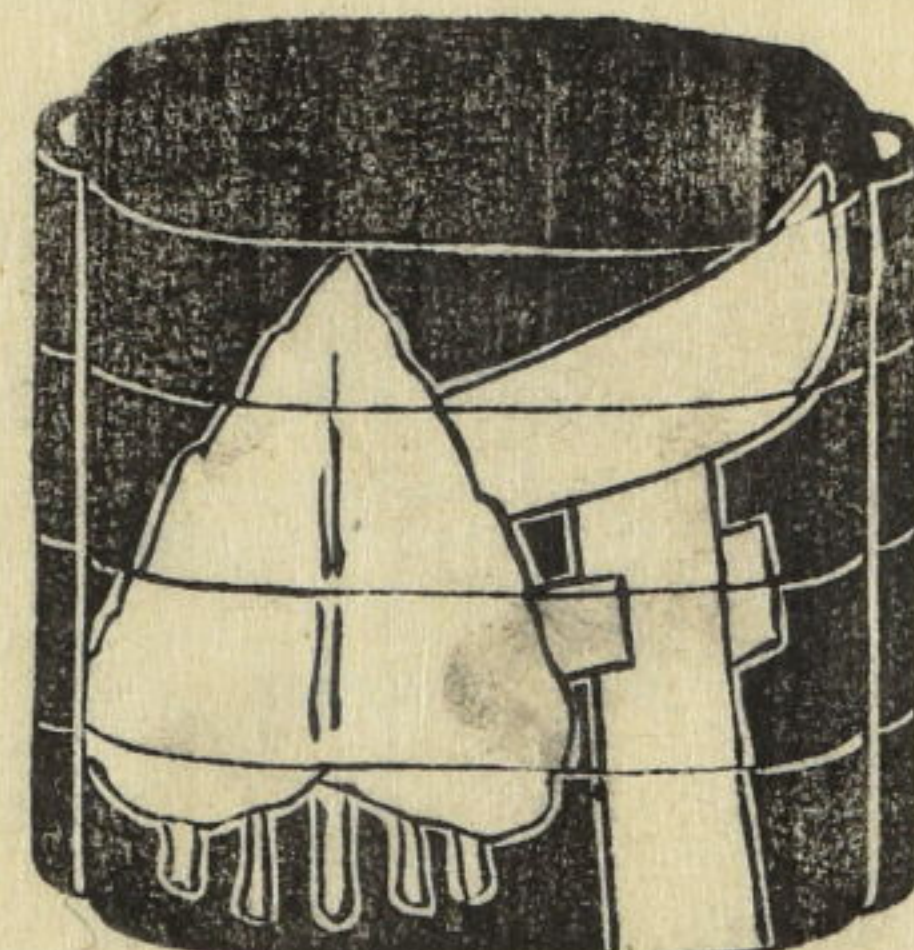


みん
みん
みん
みん
みん
みん

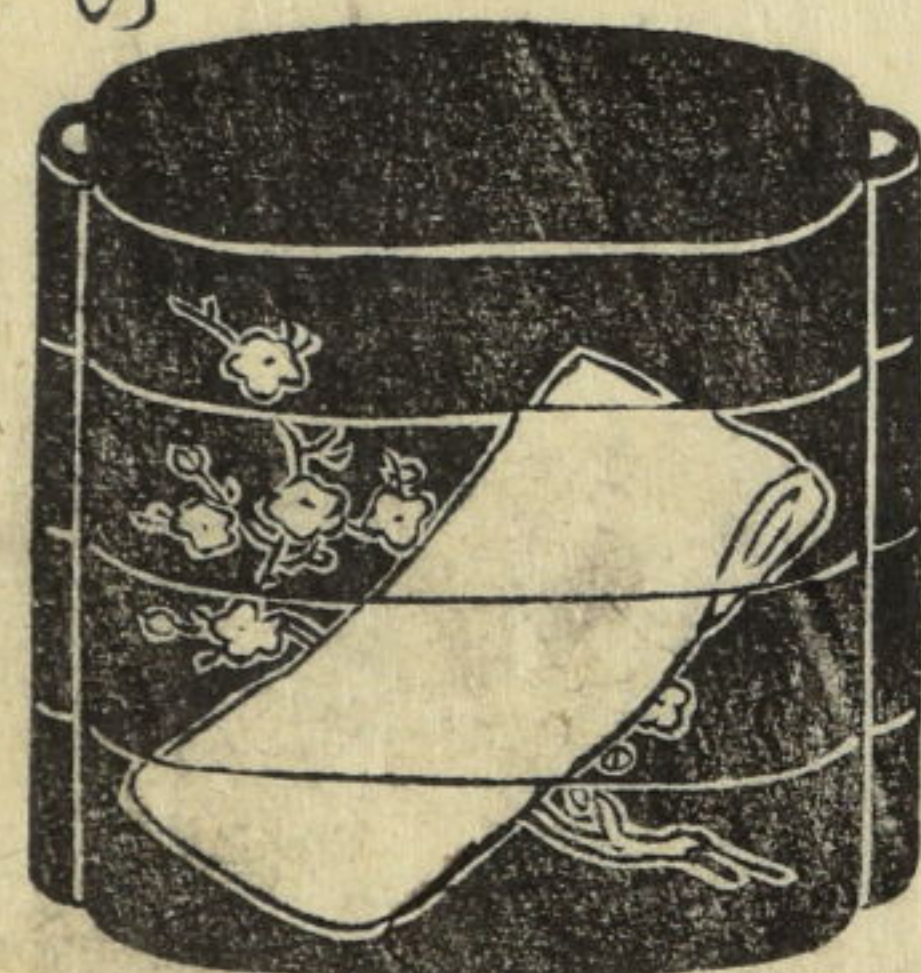


村吉右衛門刻

かき
われ
い
し
し
し



かき
われ
い
し
し
し



かき
われ
い
し
し
し



右 春禽寫

生カ貝入

名物印

籠圖

村吉右衛門刻

